京城日報
THE KEIJO NIPPO

大正八年十一月三十日（日曜日） 第四千三百六十九號 （一）

（年中無休刊）

十一月廿九日夕刊 （朝夕刊併せて八頁）

協定遂に絶望か

米國政府と炭坑夫との協定は遂に絶望となるべしと觀測さる（紐育電報）

チェック蹶起說

浦鹽に於て五萬より成るチェック兵の部隊は某國援助の下に或る行動を開始せりとの說あり（長春特電）

ガイダ將軍亡命か

本國政府より退去を命ぜられしガイダ將軍は浦鹽より敦賀に渡り日本に亡命せりと（長春特電）

東鐵又復不穩

東清鐵道にては運賃改正により各種の留を受け入るるも右の內にはロマノフ及びホルワツト紙幣を同樣に受入れたり從いて給料支拂に及べるため兩者市場相場に相異ある事並に大小額面に開きある事を理由とし又復ストライキを起さんとするの形勢あり（ハルビン電報）

支那政府の逆襲

福州事件に關し外交部は廿七日午後正式に小幡公使に對し犯人所罰被害者賠償責任者懲戒支拂等の四箇條を要求し來れり（北京電報）

軍艦砲擊事件督促

露人の支那軍艦砲擊事件は荏苒解決を見ざるに依り張巡閱使は政府に對し露國にして滿足なる解決を爲さざるに於ては支那側は東清鐵道を自由處理の任に當らしめ利權を恢復し損害の一部を償はしめ且つ嚴重なる交涉を進むべく激勵の電報を發し急速解決を促すところありたり（奉天特電）

英米對支活躍注目
先づ基礎の確立を企圖す

英米人の對支活動は益々色彩を濃厚にし來り最近には英米支實業聯合會の成立を見今十一月に天津に於て其發起會を開催するあり又北京に於ても土木機械採礦電氣及び建築等に關係ある米人及支那人技師倶樂部の組織を計畫し既に其第一回會合を開き又米國代理公使テンニー氏は其自邸に於て米國大學出身者を以て組織せる倶樂部の親睦會を開催する等着々其歩を進め事毎に概ね成功しつゝあり即ち英米支實業聯合會に依りて直接現代の實業家と提携する事を策し技師倶樂部に依りて工業に關する實權掌握の前提を爲し更に米國大學倶樂部に依りて近き未來の政治家實業家との接近を圖る等現在及び將來に向つて先づ基礎の確立を企圖する點大いに注目に値すべし（奉天特電）

米支人提携決議

米支技師協會組織の目的を以て親米派支那人は米國人と提攜すべく此程會合の席上左の決議を爲したり（北京電報）

支那に於ける米國の利權及支那に對する智識の向上は將來共必要を感ずるを以て支那語支那事情研究の爲め渡支する資格ある米國學生に旅費を支給する爲め基金を作り斯る學生は二三年の期限を以て支那語及び支那の國情人情を修めて歸國せしめ相互の利益を圖り米支の親善と了解とに貢獻せしむべし

吉林省借欵計畫

吉林の有志約三十名は吉林の財政改革及び貨幣振興の資金として米國より吉林省の名義を以て二千萬弗を借欵し日本の經濟侵入を抑遏せんとの計畫の下に張巡閱使に向け該借欵の件を北京政府に申達せんことを請願せりと（長春特電）

巡閱署秘書長

談秘書長の後を襲ひ巡閱公署秘書長に任ぜられたる談國桓氏は省長公署秘書長に轉任したるより其後任として張巡閱使は[illegible]氏推薦されつゝありしが二十六日正式發表されたり（奉天特電）

兩府尹異動

二十九日附左の通り發表ありたり（東京特電）

任總督府事務官（二等） 群山府尹 天野喜之助

任總督府參事官（二等） 馬山府尹 三增久米吉

日銀帳尻 二十七日現在

左の如し（東京電報）

發行高	一、一七九、四三一
正貨準備	八七三、八三七
限外發行	一八五、五九四
貸出高	四一二、九一七

部長府尹異動
天野三增兩氏勇退か ●村地氏東拓入社內定

總督府にては近く全道に亘り第一部長及第二部長並に府尹等の更迭を行ふべく既に人選を終りたるを以て十二月上旬發表の筈なるが右の中には前記の如く群山府尹天野喜之助馬山府尹三增久米吉兩氏の異動ありたるが右は勇退の前提と見るべく又仁川府尹村地卓爾氏は東拓に入社する事に內定せるを以て茲に三名の缺員を生ずる事となりたるが其の後任としては總督府課長級より就任を見るべく要するに今回の異動は地方廳及び本府に亘り可なり廣汎なる範圍に於て行はるべしと

大波瀾 期米

廿九日前場の仁川期米は前日來の爆進的氣勢を受け殊に大阪の前日後止め高のため買方沸騰先物付きアト五十一圓廿五錢と三十五丁高に寄付き五十四圓八十錢と未曾有の珍値に躍進したるが正米出廻り時の五十一圓臺は正米筋上不斷となり買方勢力の弱化あり休日控へ等の關係上手仕舞ひもあり止めは五十四圓四十六錢と大暴落大波瀾を現はしたり

南鮮鐵株公募

五州鐵道會社は既に社名を南鮮鐵道に又資本金を一千萬圓に增加、事務を京城に於て取扱ふ事に變更したる事は既報の如くなるが會社に於ては愈々二十八日內地諸新聞に依り株式募集を發表したり其內容は同社株式二十萬株の內發起人の引受十五萬一千株、賛成人三萬九千株合計十九萬株を控除し殘一萬株の少數を公募に附したる次第なるが[illegible]を見越せる內地は勿論京城其他の朝鮮各地方面よりの有力なる申込殺到し應募株は恐らく可なりの多數に達す可く豫想されつゝあり而して申込期日は十二月一日より同五日迄にて發起人は藤川[illegible]氏其他[illegible]山下三郎、齋藤[illegible]郎、[illegible]村俊平、鈴木[illegible]次郎、松[illegible]氏外十七名なり

事業資金と金融
親銀行の態度不透明
某銀行家の談

益々緊縮 現に京城市中の如き銀行側の控制嚴なる結果資金需要者を自然個人金融業者に向はしめ日歩十五錢若くは二十錢と云ふ如き高率を附し居れるあり金融は日一日緊縮の度を加へつゝありその原因として（一）物價高に基く資金需要の旺盛（二）京城に移入されるたる內地商人[illegible]の如き素より之れを數へざるべからざるも本年は更に他に重大の一理由あり乃ち新事業の勃興に基づく拂込資金所要の機運なる事之れなり素より[illegible]資金は各銀行共表面その融通を[illegible]の多額の貸附をなしつゝあり又

銀行に融通 [illegible]證券化せしめ或は他に資金の運用をなす等要するに新事業の方面に注入さるゝ資金は決して少額ならず言を換へて云へば本年の朝鮮並に滿洲事業界の勃興旺盛のためそれに拂込むべき資金の引受一は格別に多く例年より要する譯なりこれ本年の金融界が特に緊縮の徵を現はす所以にして財界の有力者

新事業の勃興に基き朝鮮銀行は相當の態度を執り金融の緩和を圖るの義務あり乃ち鮮銀としては直接に間接に資金の需要を喚起する如き必要はなけれど金融市場が新事業拂込者を援助する如き取引に對しては（一）普通取引先に對する取引に相當便法を講じ（二）特に各銀行に對する貸出し限度を相應の程度に擴大するは急務なり然るに（一）に就ては鮮銀取引先の關係につき事情を審かにせざるも肝腎の（二）に對しては殆ど其事無く唯金利の引上を斷行し更に貸出制限を態度し居るのみにて新事業の勃興に對しては何等關知せざるが如く貸出限度の擴張をなし居らず、これ甚だ不透明の態度と云はざるべからず或は今春鮮銀が米穀金融を極度に緩め而して鮮米の內地に比して暴騰となるや政府の一喝に遇つて俄に緊縮したる[illegible]

く鮮銀昨今の態度を繼續し金融を益々逼迫せんか當局者より何等か態度を變する等の注意を受け偶に態度を變するやも圖り難けれど吾等は鮮銀が今日に於て自發的に相當の處置をとらん事を望むこれ實力乏しき新領土財界の健全なる發達を期する所以なればなり

鴨江水電進捗

東拓を中心として出願中なる資本金二千萬圓の鴨綠江水力電氣株式會社は既に一件書類は咸南道廳より遞信局に廻附され目下局にて審議中なるが近く了解を得居れるを以てその許可も近かるべし

二興鐵と改稱
炭礦鐵道

廿七日總督府に出願したる資本金一千五百萬圓の朝鮮炭礦鐵道株式會社は都合上名稱を第二興業鐵道株式會社と變更したり尙發起人は大倉古川系並に他の實業家にて東拓は何等の關係なく發起人總代は津田[illegible]雄氏なり

京商二級大混戰
續々立候補宣明

京城商業會議所議員選擧戰は最近の商工業發展に比し頗る平穩なり否寧ろ平凡なりと評せらるゝ程なるが一部に聞かざるに非ざりしが此の狀況に憤慨せるものか[illegible]人の名乘りを揚ぐるもの漸く多からんとし現に京城鐵工所主西崎氏の如き二十八日更に[illegible]推されて立候補を聲明し新たに同業者[illegible]氏も同方面より推されて二級戰に

參加するに至れり 此一般の[illegible]二級戰は俄に色めき來り[illegible]の二級戰の[illegible]

同窓の應援 あるを以て[illegible]古城龜之助氏が一級戰に參加せる結果同町の票數は此の兩氏に投ぜらるべく從つて兩氏の地盤は安固たるものあり西崎氏は大和町內の得票のみにても三十票は動かざる所にて之に附着及び[illegible]の得票ありと云ふ[illegible]の得票を許さざる[illegible]勢の得票は[illegible]

二名の超過 [illegible]迄に立候補者八名に對し[illegible]辻本嘉三郎、高島周祐、土井伊右衛、藤富國太郎、藤田安之進、齋藤半助、北村貞太郎、西崎源太郎、矢野菊松、二宮常一、山田[illegible]太郎[illegible]の內最高點獲得者は北村貞太郎氏ならんとの噂高く同氏の當選は一貫せる熱烈なる運動より終始一部有權者の投票を獲得したるは事實にして恐らく同氏の最高點は實現するならんか高島周祐氏は北村氏に次ぐ高點者ならんとの說あり同氏の熱烈なる運動振と且つ同選出の關係とにて土木建築者方面と明治町方面に動かし難き票あり戰局

推移の狀勢 によりては或は北村氏と高島氏との間に於て町方面の得票に就き猛烈なる白兵戰を演ずべしと云ふ第三位は恐らく鐵崎半助氏により占め

軍司令官參宮
王世子殿下の近狀言上

宇都宮軍司令官は二十八日午後に[illegible]參殿に一同謁見仰付けられたるが軍司令官は先づ師團の狀況を言上次いで殿下に謁見仰付けられたる後大將にお土産の品々御覽を言上次いで又東京に於ける李王世子殿下の御近狀を言上したるに李王殿下には御機嫌麗しく何呉れとなく御下問あり斯くて大將はお土產の品々を獻上し退出したるが殿下には種々御諚ありたるやに承はる

立花中將來期

關東軍司令官立花中將は管下軍事狀況上奏の爲め東上中なりし處三十日東京を發し來る十二月三日午前九時二十分着列車にて來城し京城ホテルに入り少憩後齋藤總督宇都宮軍司令官等を訪問し

財界閑話

◇朝鮮銀行支店長會議に於ける總裁の訓示を聞くと地方に於て決してむなしい他の地方銀行と競爭の態度をとつてはならぬ▲鮮銀は中央銀行である以上銀行の銀行たる態度を失ふべからずと云ふ意味の事は必らず話さず云ひてゐるが、表面の說示にすぎぬとあり內實にはコツソリ指合が出るのか流石に本店所在地では徒りに揆ぐのか、親の心子知らずか、伹しは又訓示は表面の辭令にすぎぬからすと云ふ意味の事は必らず▲さうでてれが二夜や三夜でなく閑係上他の銀行の得意先を背き之れに自己の取引先に差し向け口說く▲北鮮の某地などでは和服の店へ行くと云ふ

...[illegible]

人事消息

▲李軫鎬氏（全羅北道知事）二十八日附往復三週間の豫定を以て內地府縣に於ける地方行政及警察行政狀況視察の爲め東京靜岡愛知福岡の各地へ出張を命ぜらる

▲西村殖產局長 慶尙南道管內視察の爲め出張中の所三十日歸任の筈なるが都合により十二月二日に延期

▲東條大佐 今回病氣の爲め出發を延期し居たる氏は三十日夜七時五十分南大門驛發赴任の筈なるが病氣の容態如何に依りては或は尙延期すべしと

▲松平直平子（東拓理事） 三十日午前十時發列車にて事務打合せの爲め東上

▲池邊龍一氏（鮮銀理事） 歐米出張中の所二十九日倫敦發伊豫丸にて歸朝

▲新貝五十吉氏（鮮銀理事） 英國出張中の所十二月七日頃倫敦發紐育に向ふべしと

鮮銀券日報 二十七日現在

左の如し 南大門驛發十一時の列車にて京義線へ出張任すべしと

發行高	一四六、三二九、二五二
正貨準備	七〇、六一三、九九七
保證準備	七五、七一五、二五五

曙 朝

（曾川選）

黃金町 富士雄

丸山の根がゆるんでゐる朝

起床九時むごい日さす四疊半

本町 侯城

里の親今朝はゆつくり寐て置き

後朝の背中三日むづ痒い

黃金町 參路

翌る朝不貞寐三日酔が出來

朝風の味を知らないなまけ者

そんな事朝飯前と出來ぬなり

其の日その日

◇講和條約は遂に米國上院の批准を待ち切れず、愈々十二月一日を以て、實施すべく決定せりと報ぜらる、大凡年末は、世界の年中の總勘定時也、世界の一等國が、愈々として他人の爭を拘へて、傍觀すべき秋に非ざるは、既に批准を了したる日、伊、佛の四箇國が、條約關係國に對しても、米國の態度を[illegible]を擴ぶられたる[illegible]、小弱國に至る迄、四大國の[illegible]力を無視し、遂に米國の形勢を觀望せんか[illegible]大國に於て、米國が、之れを米國に[illegible]に至らん、且つ米國をして益々其主張的我儘を更に[illegible]ならしむるものに非ずして何ぞや、條約實施が一日早ければ、早きだけ世界を安心させ、其實行も亦輕易たるは明かなり

◇西伯利增兵は見合せとなりたるもの、如きが、元來增援計畫は、緊急補充案と、根本的の、如く、取敢へず緊急補充案を採用し、根本的大策は更に慎重研究後、斷立せらるべしと、緊急補充案は對露援助と言はんよりも、寧ろ我軍隊の救援也、請ふ見よ、[illegible]と、慘憺たる困苦と闘ひの[illegible]に堪へつゝ、二萬數人の少數の割合を以て、野大なる[illegible]の如き敵の攻備に任じ、殆んど休息安眠の暇なき我西伯利出征軍隊の現狀に對しては、人も同情の禁ずべからざる所、今回の增兵が僅に一個旅團なりと雖も、彼等に勤務の交代と、若干の休息を與へ得べき補となるべく、以て彼等をして[illegible]

◇外蒙自治撤廢に成功して、凱旋將軍の如く、歸京したる徐樹錚君は、官民の大歡迎を受け、國民大會迄も開かんとす、彼や未だ戰へざる也、彼や此の功を以て中央政界に復活し、再び其辛辣の腕を揮ふなきか、吾人は或種の意味に大なる興味を以て、彼の前途を觀んとする者也

一 黑色鑛山藥 石山其他硝用爆藥
一 硝安爆藥

弊社ハ本年四月創立以來各位ノ御同情ニヨリ工事モ豫想外ニ進捗シ既ニ事務所、工場、火藥庫等モ落成シ諸機械其他ノ設備モ整頓シ今ヤ製造ニ着手致候就テハ右品格外ノ廉價ヲ以テ御需用ニ應シ可申候何卒續々御注文ノ程願上候 敬具

安東縣六道溝
滿洲鑛山藥株式會社
社長 佃一豫

藥品有名賣藥其他一般

卸小賣 誠實勉强

鎭山辨天町二丁目
藤田悌三郎藥舖
電話長二一六番・振替口座京城[illegible]六番

急告
支那北京直輸入骨董品其他古代銅陶土中珍品種々右陳列一覽ノ上御希望ノ御方ニハ廉價ヲ以テ賣却可仕候
日時 十一月三十日午前十時ヨリ十二月一日迄貳日間
場所 京城府明治町二丁目小川旅館樓上
荷主 支那濟南府 永岡

日本自動車學校
賀習本位二ヶ月卒業 運轉手は需要者多し 每月一日新學期開始 東京神田日本自動車學校へ規則申込べし

株式會社第一銀行京城支店
資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千六百貳拾萬圓
預金 參億五千萬圓
頭取 佐々木勇之助
支配人 竹村利三郎
京城本町一丁目 電話二三一 振替京城二八八

大成功 大金儲けの特約店募集
吾人生存上無くてならぬ日用品百貨を現今の暴騰の際にも拘はらず破格廉價而かも何人も仲次問屋の手を經ずして直送卸小賣する特約店希望者は郵券六錢送れ新經驗でも出來る新方法の營業案內と百貨滿載の原價表送る 東京神田區通新石町 日本通商聯絡會社

大景品附歲暮大賣出 十二月一日より

各支店共通の御便利有之候 吳服券

京城 三中井吳服店
電話長三七番 振替京五二四番

所在地 京城 釜山 大邱 平壤 元山 晉州

歳末氣分漂ふ
本町通所見

攻防演習觀戰記 第五信
戎衣の袖片敷きて
何處にか飛ぶ露營の夢
第一線では斥候の小衝突 悅んで食す夜食のお汁粉

兵夜襲前線では天明迄斥候の小衝突は絶えなかつた。防禦軍の歩武は頗る慎重で幾度びか忍び寄る斥候の撃退に努めた

攻擊軍では 敵の突破せしむべく防禦の状況を偵察せしむべく幾組かの斥候を放つ一方、前進陣地を構成したり交通濠を掘つたりした。嚴い眞暗な夜を默々として作業する兵の白い息ばかりが濠の中から透いて見ゐた。

『オイ夜食にお汁粉が出るんださ』

『一體誰が云ふもんか、今中隊の曹長殿がさう云つてるたぜ、十二時を期して分配するツテ！』

『一滴！一滴！ぢや十二時迄に急いで遣つ付けやう』

誰云ふとなく汁粉の夜食があると云ふ話が出たので其の元氣は益々加はる

夜半十二時 に完成すべき豫定であつた交通濠も前進陣地も十一時少し前に出來上つた。寒さに打克つ元氣とお汁粉の目標とは更に工事を豫期以上に完成せしめた。丁度十二時を期して敵にも味方にも一樣にお汁粉の夜食が支給された、餅一切れに飯盒の中皿に汁一杯が一人の分配量である。兵は何れも

舌鼓を打つ て嬉しさうに食た、此の味、假令餅一切なりとも永遠に忘れられぬであらう

堀田統監は語つた『君が見さに見た通り兵の志氣は頗る旺盛である、且其の無邪氣な態度は

各處の軍隊 にも求め難からう寒さと敵に戰ふ苦しみは軈て他日尊い經驗となつて實戰の時に現はれる、我々が寒夜に戰ひつゝ攻防演習を施行する所以のものは一朝事ある場合の準備である』と

國民よ、卿等を安穩ならしむべく將卒は斯く平時に於てもあらゆる

辛苦欠乏に 打克て演練するのだ、其の勞を想へ。

◆十二時を過ぎてからは寒さは彌々と耳に迫る、天幕の中に焚火を焚々と挾いても猶且足の爪先は銳利な針で刺されるやうである

不知、戎衣の袖片敷いてまごろむ暫時を見る夢や如何に、父の顏、母の顏

偖は妻の顏 懐しい人々の面影など交る〲各人の夢の戶に現はれるであらう、佗しい露營の夢から覺めて何所に起きると鼠が又飛んだ、凍てた空には又一頻り銃聲が澁ろく（終）

釋宗演老師 哀悼式
愈々明卅日 妙心寺にて

故圓覺寺管長釋宗演師の遷化は本三十日鎌倉圓覺寺に於て執行せらる、苦なるを以て當地に於ては故老師に縁故ある後藤瑞巖師、岡本桂次郎、森安連吉、槇藤四郎介、深水清、大和與次郎、大村友之丞、工藤武城、中村健太郎諸氏及び三島殖銀頭取等發起となり三十日午後一時より南山洞妙心寺別院に於て哀悼式を行ひ一般の參拜を許す筈なるが後藤瑞巖師は式後引續き碧巖錄第五十五則の提唱を爲すべしと

伊國飛行將校と 軍司令官ご會見
飛行準備成ると羅馬へ打電 辭去してから若草場に試運轉

日當りの好い應接室で温かな握手

目下滯京中の伊國飛行準備委員伊國飛行將校バウルシー中尉エスポジート中尉は二十九日朝九時軍司令官々邸に宇都宮大將を訪問した、宇都宮將軍は大將の新裝を著し悠然と出迎へ是を南庭に引見し互に暖かな握手を交へた日當りの好い階下の應接間に白菊の香は絶えず浮動して居る客に通はるバウルシー中尉は撲諾と懇懃に云つて話を續ける、『寒さの折柄此儘失禮します』

伊國總領事 タリゴロ

今回の飛行 に關し日本官民が絶大の同情を寄せあらゆる便宜を圖つて異れる厚誼を謝し『お蔭様で朝鮮に於ける着陸準備も完成し且支那其他各國の着陸準備も完成したやうでありますから、一昨日羅馬に向け『着陸準備成る』と打電致して置きましたから、近く飛行して來る事と存じます、其節には何分の御配慮をお願ひ致します』と云ふと

將軍は嬉しさうに 『出來る丈けの設備は仕ますから御遠慮なく御申し出で下さい』と、それからそれと打融けて餘話を交した伊國飛行將校の談によると今明日中には羅馬を出發する事となるであらう國際通信が飛行中止説を流布したのは大方ダヌンチオ氏の近狀から想像の翅を擴げたのだらう

伊國飛行將校軍司令官訪問
向つて右よりエスポジート氏、古城軍副官、伊國總領事チリナロ氏、パオルシー氏(官邸玄關にて撮影)

[illegible]來ないかが問題でなく我々飛行將校が此の

壯擧を敢行 するにあると堅い決心を示してゐた、九時四十分一行が辭去すると將官が玄關迄立つて見送り婦やかなる別れの言葉を交へ、飛行將校一行は[illegible]自動車の試運轉を行ひ『絶好の飛行場です』と幾度

感謝の意を 披瀝してゐた寫眞は軍司令官邸を辭去する時爲渡失敬してレンズに入れたものである。

李堈公令嗣勇吉公子には
何も御存知ない
若し今回の事件が聴かれたら御勉學の妨げにならう

李堈公殿下の令嗣勇吉公子の麻布鳥居坂の邸に椿事の報を聞いた前夫人は[illegible]せば教養主任堀場夫人は語る〔東京特電〕彼の御悲惑深い殿下が如何にして陰謀等に拘らせられたのでせう若様は今學習院の御歸りに御友達の病氣の御見舞に御立寄りになり未だ御歸りが御座いませんが若し斯んな事が御耳に入りましたなら何んなに御歎き遊ばすでせう此頃中休暇に信州野尻温泉に御保養なされた後は見違へる程ど御體も御丈夫

に御成り遊ばし學校の成績等も益々

御良好で 先日も御國の母君殿下より是非冬中休暇には歸國せよとの御手紙が參りましても朝鮮に歸つても寒いばかりだからこて却々歸らうと仰しやいません斯程に御愉快に元氣好く御通學遊ばしますのに御父君の事を御知りになりましたら折角の御勉强の御邪魔になりはせぬかと眞に御可哀想でなりません

私に嘘を吐くな
絶ず朝鮮の事を御心配
勇吉公子邸執事 堀場長太郎氏談

若様は朝鮮の宮様の若様と云ふので同級(學習院)の人々からも敬意を拂はれて居られ元來が賢い御生れ付きで

曩に暴動 の起た時など眠られず四五日前も御通學の途中鮮人陰謀の新聞の張紙に目を留められ又朝鮮に騷動が起たかと聞はれるので決してそんな事はは心を痛められて夜も碌々は甚く御座いませんと申し上げると私に

虛言を敎 へてはいけないと叱られるので北の方に少しでも京城は何もありませぬと申上げれば夫では御父様や御母様には御變りはないだらうと言つて御話を他に轉ぜられ甚しく朝鮮の事には氣を痛められるので

[illegible]されて讀かれるやうな事があつてはお證にも障らうと學習院長始め諸先生方にも豫め事件の内容を打明け發表の後學友の態度等が變らぬやうに御願ひし又若様にも

若し父君 の事が新聞等に如何に揭載されても決して御心に懸けられてはなりません若[illegible]遊ばすやう御勉强に成らねばなりませんと豫め申上げて置きましたが若様は

好く解つ たと仰せられながらも不安の御顏で居らせられたのは御痛はしかつた然し未だ何も御存知無く甲斐〲しく勉强して居られます〔東京特電〕

和服姿の勇吉公子

不穩文書發行者
悉く檢擧さる
京城を根據とするもの
本町鍾路兩署の大活動

今春騷擾以來不穩文書を以て人心の攪亂を企劃し京城は勿論全鮮一帶に不穩文書の發行撒布せられたもの數百を算し警務當局は絶えず之が取締に努め有様勿論之等不穩文書中には上海より印刷して持ち込まれるものも數種あるが更に京城を根據として印刷される不穩文書も尠くないので京畿道第三部主となり本町鍾路兩署協力して盛んに搜査中の處過般來大同新報革新公報自由民館、半島木鐸等の不穩文書發行撒布の元兇殆んど全部を檢擧し印刷器具騰寫版其他一切を押收した右に付京畿道第三部は廿九日午前十時左の通り發表せり

視線を避 くるを安全なる策として再び京城授恩洞一五九號の旅人宿を兩金川間に借受け永同活版所と名付け職工には一味の權愍復、李根高、魯昌、黃癸金用権の五人を雇入れたるが如く裝ひ不穩文書の印刷は右活字を黄金町五ノ一四二李根高方の一室に搬出し右職工等をして七月初旬より大同新報一號

一萬枚を 印刷せしめ各地に撒布し其後引續き發行する豫定であつた所が本年十月中職工中の四名が遂に其筋に逮捕せられた爲め印刷に支障を來し盛んに職工を物色中の所、今回之に探知され約十日前、鍾路署の手に依つて印刷機械全部を押收し鄭必成を逮捕したるが右印刷機械全部は牛車三臺に積んで鍾路署に運んだ程である

全協一味の
大同新報
印刷機械活字諸共押收

京城を根據とする不穩文書發行者中の所謂全協一味が居る事は前から判明して居るので鍾路署に於て嚴重なる探査を進めつゝあつたが最近漸く此の一味全部を檢擧し得た。今日迄撒布された不穩文書中大同新報は其の主なるものでその

害毒の著 しいものであつたが此大同新報は曩に檢擧した大同團首領全協が一派の一味鄭必成と協議の結果、不穩文書を發行し廣く之を撒布し民心の攪亂を計るには從來の如く謄寫版では充分目的を達する能はずとして腐心の結果京城府橋洞の金發泰の所有せる

印刷機械 を購入する事となし金練百なる假名を用ゐて之を讓り受けた、此印刷機械類及び附屬機械類は印刷機一臺活字約八十貫にて其代價としては千三百餘圓を支拂ふたと云ふ事である。其後右印刷機械は一旦府内林町某鮮人家屋を借受け移轉したるも更に[illegible]

印刷場所 は府内水下洞青雲洞の小使徐大順なる者の家を借受け十一月上旬より今日迄に十六回の印刷撒布を爲したる事實を自白したので右小使徐大順を引致取調べたるに以上の事實の外に騰寫版の所在を自白したので早速官憲が臨檢すると騰寫版器具一切は同校職員室の天井板

二枚を剝 ぎ其の裏に隱匿してあつた然も器具中に紙一枚ありたるを以て騰寫したる所十一月三日革新公報號外として頭領の揭揚の檄文が現はれた更に共謀者の居所鍾路通六ノ四二權洛彬方を取調べたるに同家

簞笥の中 より新聞紙包の儘なる美濃紙三十餘枚半紙千枚騰寫版原紙八十三枚を發見し騰寫版其他は同家裏手の三[illegible]

三月中旬 より中央青年此不穩漢は去る

[illegible]學校卒業生張濟俊と共謀し獨立新聞を三十回程印刷發行し十本年五月に至り中央學校生徒柳淵和同[illegible]罷頑富等が印刷撒布した自由[illegible]鐘を引受け革新公報と改題し[illegible]鐘路署に[illegible]撒布して[illegible]

天井裏に
騰寫版を隱匿
[illegible]の

大に騰寫版の不穩文書も非常な勢力を以て不穩思想宣傳に努めた中でも革新公報自由民鐘は其害毒侮るべからざるものであつた鍾路署では豫て此不穩文書に就いて嚴探中の所過般府内鐘路一ノ八一李明文方に寄宿せる申思均と稱する

學生風の 青年の擧動に不審であつたので鍾路署に引致取調べた所此奴は京畿道坡州郡永面梅山里に居住する中央學校卒業生柳基元なるもので革新公報發行者として本年五月以降其筋が搜索中の人物なるより更に嚴重に取調べを續行した所

[illegible]に右印刷場所として水下洞青雲學校を使用した事判明し關係者一同を逮捕した

總解合ひの
儲け頭
三十七萬圓
中村梶原兩氏は

[illegible]、其の利いた相場もなく拂ひに勝けた米商は遂に空前の珍値五十圓を出し其爲め大方の中にはボロイ儲けをして今日此頃の寒空に師走の風は何處吹くかと寢嘯いて居る者もあることだが中にも儲け頭は釜山の中村、京城の梶原兩氏で過日の仁川期米市場の總解合に利を見た額は實に三十七萬圓以上だとか提灯連では角十店主の六萬圓、丸マの孫淵の五萬五千圓を初めとして五千や一萬はザラにあるとかで懷からポッ〱と螺を出して早く正月が來ればとは[illegible]

堀憲兵大尉 燒香式
盛況を極む

[illegible]鐵嶺守備利にて戰死したる堀大尉の遺骨二十九日朝鮮軍司令部へ到着したるを以て同日午後[illegible]より憲兵隊司令部に於て燒香式を行ひたるが齋藤總督代理、宇都宮軍司令官以下官民多數參列、盛況を極めたり

輕鐵從業員
結束す
增給を迫る

全北輕便鐵道從業員等は物價騰貴の折柄現在の俸給にては生活困難なりとし先日結束の上内地人社員十八圓鮮人十五圓鮮人雇員に五圓乃至十二圓の臨時手當を本給に直し且つ全部の五割增しを要求したり若し應ぜざるに於ては退職す可しとの意志あるも會社側にては廿六日重役會議を開催し善後策に付協議せり(全州)

宿屋荒し 住所不定鄭[illegible]觀(三七)は十月五日午前二時頃死洞百四十一番地李[illegible]斤方に忍び入り同家宿泊中の平北碧潼郡雲面雲[illegible]里百七番地金[illegible]及び平北楚山郡南面松湖洞二百二十八番地呉[illegible]乘商より現金四十一圓四十二錢外四十五點價格二百八十五圓を竊み逃走後十二回に[illegible]各所に入質消費したる事[illegible]して本月十五日鍾路署に檢擧されたるが二十七日身柄は檢事[illegible]に送らる

新義州の 著陸場竣工

既に實地踏査を終る伊太利飛行機の新義州の着陸場に於ては着々其の準備を急ぎ[illegible]に竣工を告げたるを以て伊太利飛行中尉パウルチ氏は下士二名を隨へ二十八日新義州に來り又第二十師團經理部附陸軍技師久野直氏も新義州に來り着陸場の實地踏査中の處廿八日朝發列車にて歸任の途に就けり(新義州)

貨車脫線 二十八日午後五時頃平壤驛第一號轉轍器附近にて入換機關車貨車に衝突し該列車破損脫線したる爲め南北行列車及び混合列車一二に僅少の時間障害せしも列車運轉には何等の影響を與へたるのみにて急行列車には支障を來さゞりし由

◎支那人の行倒れ 二十七日午後六時頃蓬萊町鐵道工事場内に住所不定支那人楊可平(三二)死し居たるより直ちに本町署に屆出たるが同署より係官醫師臨檢の結果病死と判明したり屍は[illegible]に引渡されたり

お寺と敎會 メソヂスト

敎會旭町二丁目三十日午前十時半說教みられし基督』中村牧師午後七時『基督教入門』同牧師▲黃金町日本基督敎會(若草町)三十日午前十時半『禮拜說敎』午後七時半『聖書講義』▲曹洞宗別院(若草町)三十日午前十時より『普勸坐禪儀提唱』門脇探玄師午後一時より『日曜學校』安藤師の講話▲妙心寺(長沙洞)三十日午前十時『碧巖錄提唱』後藤瑞巖師▲南山本願寺二十九日午後七時より『眞實の天地』三浦開教使三十日午後七時より『念佛の大道』平井開敎使▲長崎開教員『講話未定』法例會[illegible]▲倶樂部日曜學校は午前九時午後より催さるゝ由

▲山口中佐夫人葬儀 二十七日逝去した山口砲兵支廠長山口中佐夫人の葬儀は二十九日午後三時より龍山東本願寺に於て執行されたるが宇都宮軍司令官淺岡法務部長兒島憲兵司令官大野軍參謀長等は何れも花環を靈前に供へたり

灯頃

近頃不逞鮮人に對する警務局のヤリ方が快刀亂麻を斷つ趣にテキパキして居るので▲不穩分子の一派中には頻りに赤池局長を呪ふ聲が聞こゆるとか御用心〱▲二十五日新羅丸で上陸した二等船客中に『藤原鎌足』と云ふのがあつた喜獵の獵師か何れは寒ませる

兎狩らすの記 (2)

兎然是百鬼夜行 肝腎の鶴を忘る

軈て狩と云へば體裁好いが何れも百鬼夜行の扮装凄まじく手に〱拂杖や棍棒を提げて銅鑼やブリキ罐樣々な鳴物を提げた人數四十餘名全山の兎を捕へにせん如な意氣込だつたが肝腎要の兎勢子が打合の行違から到著せず、石山牧場主が自馬に跨つて途中まで偵察に出掛ける其後から自轉車の迎へが走ると云ふ始末、漸く第一回山狩りに著手したのは九時過ぎであつた

列車延著 二十八日夜京城驛著列車は[illegible]時間延著す

天氣 曇但夕雨降る

[illegible]

連絡船上陸客 [illegible]郎、小松時三郎、外人十五名[illegible]、鈴木むめ、三好判一、小倉治、同常子、同信男、同恒夫、深澤長助、永武新吉、京田佳一、矢渡[illegible]、同くに、同しん、國宮代、平田常三郎、三等(一八三)、[illegible]名、山本宗一、中上福三[illegible]、友道、阿川ひな、森するの、井谷名[illegible]

京城府代理部
京城日報社
振替京城三番

眼科專門 金井眼科醫院
京城若草町(鍾路部通り若草町新道路中央)
新築落成◎入院隨意◎日曜祭日午前中
電二五五六

捕雀の時季は今ですカスミ網は小供でも張れます一度に數十羽は容易く捕れますから晩餐の御菜のみでなく樂みと運動にもなります
カスミ網
小鳥用極上等細絲製
高サ六尺三間 二圓四十錢
高サ六尺三間 二圓五十錢
前金に限り送料負擔代金引換送料貳拾錢
朝鮮京城永樂町
吉備商會網部
電話一四一四番 振替京城四三八番

池田季雄
イケダ小兒内科病院
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話(病室二二〇四番 自宅二〇〇〇番)

和東 人形印ミルク
世界中のお子様衆の一番お好きなる人形印ミルク

入院隨意
京城南山町二丁目六番地
片山内科醫院
電話一九五一
片山信夫

外科 皮膚科 瀨戶醫院
京城旭町二丁目(旭町二丁目)
電話(夜九時迄)一四九八番
醫學士 瀨戶潔

商況

株式

東京現株（緊急電報）

廿九日中値 ▲印騰貴 △印下落

	中値	比較
[illegible]	一〇〇·〇〇	持合
[illegible]	一七〇·〇〇	△二五八·〇〇
[illegible]	一七〇·〇〇	△一三〇·〇〇
[illegible]	一一〇·〇〇	……
[illegible]	一三〇·〇〇	……
[illegible]	一二〇·〇〇	……
[illegible]	四〇·〇〇	二四、〇〇
[illegible]	三五·〇〇	……

東京株式特電

金利引緩み兆しに今朝諸株一齊に高し（東京特電）

大阪株式（緊急電報）

廿九日前場引値 前大引比較

[illegible]

京城現株 標準相場

▲印騰貴 △印下落

[illegible]

出來高平均値

銘柄	平均値	枚數
朝鮮製紙	三八、二〇〇	五〇
商銀新	一八、五〇〇	一六
殖產銀行	二一四、二〇〇	一八〇
安東信託	四一、三〇〇	二〇〇
東電新	三〇、〇〇〇	三〇〇
朝鮮煙草	三一、〇〇〇	五〇
朝鮮紡織	三七、三〇〇	一五〇
鮮銀新	二三八、〇〇〇	五〇
朝日醸造	一三、八〇〇	五〇
朝鮮土地	一七、〇〇〇	二〇〇

月末金融如何

最近金融緊縮の原因は供給の方面に於ては日銀利上の影響需要の方面に於ては月末資金の需要に依ること勿論なるが東京に於ける本月の株式受渡資金は約一億圓に達す可しこて既に先月よりの注目されたる位にて金融界の一喧噪たるの觀なしとせず要するに之れが受方は既に之れに要する資金の準備整ひ居る可ければ受渡に支障を生ずるが如きことは之れ無かる可き筈なれど其受取りたる株式を如何に處置するかに就ては株式市場のみならず金融市場に於ても正に問題に値す可しと

東株と鐘株と

氣迷ひの裡にも、東株と鐘紡は人氣のある方にして誰れ買ふとも無く買氣優勢、相場も強硬の商狀を失はず、然れども鐘紡は這般の低電斷ぎに小口買方の惡物を誘ひて暴落したる反動もあり且つ今回の增資說が假りに假電なりしとするも勞働會議終了後には早晩增資の實現を見ずには止まざる可しとの信說有力なれば高値を摑みたる連中も……

兩雄の戰ひ

固めて其の買玉を維持せんとする模樣あり然れども何んといふも直當の株なれば何かの動機にて反動を起すこともありとすれば、其の程度も隨つて大なる可き道理なれば警戒を要すべし

昨今の內地株式は東西兩市場を通じて島德買野村賣りに兩雄の爭覇戰とも稱すべき場面を呈し居れる由にて島德一派は先づ大株紡取に口火を切り次いで大株紡の旺んに買煽るに對して野村の防戰賣りも目覺しきものあり兩者孰れも實力を以て誇り居れるが之れに對するマバラ提灯連は孰れに味方すべきや頗る氣迷ひ居れりと

上取引返す

最近に奔騰を續けたる上海取引は三百圓の呼聲に一時立會中止となりたる以來上海筋の下値注文に續いて排日熱再燃の爲め同取引所出入支那人に一人五百圓宛の……噂を傳へられ居たるが今朝立會は……連日の反落にて高値より一百四十一圓二十一錢と大反撥を演ぜし……

川崎乘保說

川崎造船所株新舊は昨來院の賣出調を示し本場の九十五圓處の高唱へを示し居たりしが右は要するに郵船の蟻に微ひ海上保險兼營を爲さんとする議あるがためにして未だ其資本額等は臨化せざるものゝ如きも社內幹部の間には著々此議固熟し來りしものゝ如し果して右にして實現せんか差當り新株の擲込を敢するは明らかにして之等の氣含みは斯く強調を持續し居れるものゝ如しと

鮮銀更に低落

鮮銀株は本日入電舊株二百五十八圓新株二百三十圓と報じ孰れも三圓方低落せり

安信押目買ひ

安東信託は昨入電の如く地場は大連筋の投げ物に二圓方の低落を來し三十八圓に打止めたるも後氣底固き振合ひありて安値は容易に手放し兼ねたる如きも後氣底固き風情あり爲めに當地の如きは安東の二圓下げに對し僅かに五十錢方弱みたるのみにて依然四十圓一圓臺を保ち居れり同社は三井鈴木の後援あるやに傳へられ例の五百萬圓程度に增資して將來純然たる取引所たらしめんとする計畫の如き信ずべき根據を有すと稱せられ押目買人氣侮り難きものあり

漢銀株買狙ひ

漢銀株は皺に擲込を蹴込四十七圓五十錢の商內ありたる以來各筋にては銀行の盛面に關する噂にて五十二圓迄買煽りたる由なるも其後買物稀と途絕えたるものゝ如く買際のみにて手合せ出來せず

錢證申込好況

錢物組合にて賣出中なる滿洲錢證券株は人氣頗る良好にて申込殺到非常に多く本日午後四時締切迄には恐らく數十倍に達すべく豫想さる而して其プレミアムの如き未だ締切前にて確實なる金額を知り難きも一般申込狀況より推測すれば最低四圓五十錢を下らざる如く高きは十圓といふが如き申込みもある模樣にて七圓以下の落入は困難ならんかとも稱せらる

大阪受渡高

大阪に於ける十一月限受渡高は總數十九萬二千七百二十株代金……

米況

東京期米特電

二十九日前場 限月寄付 納會 四十九圓丁度
二十九日前場 五一、五九
……

大阪期米特電

二十九日前場 限月寄付 納會 四十七圓三十一錢
五一、四〇
……

二千七百三十五萬七千二百八十株平均値段百九十二圓八十錢となり前月に比較せば株數八萬九千八百四十株代金一千九百三十九萬二千八百五十圓平均値段四十圓六十六錢方何れも增加を示せりと

●大連商取募株期　今回設立に決したる大連商品取引所の株式募集は準備殆ど整ひたるを以て來月初旬頃內地と同時に開始する筈なるが公募株數は內地を通じて僅かに二萬株なるが頗る人氣にてプレミアム附募株を爲す由（大連）

下關期米特電

二十九日臨時休會

昨後場は十一圓六十錢と暴騰し入氣熱狂愈々天井知らずの勢を示したるより各仲買店は追證請求取立繁忙の爲め本日は臨時休會を爲せり中限二千六百石四十八圓六十錢にて解合成立す

仁川期米

二十九日前場（大波瀾）

今朝天候晴天各地入電未着なる昨出來大阪の止め高を移して立會は氣は又復買氣旺盛となり先五十圓八十錢さ當出來ざるに寄付き九十一錢と新值に躍進せしも高値待ちの新規手詰め賣旺盛に壓せられ七十錢に押せしも金切處分の前物多く

▲第二節　當中出來不申先九十一錢より八十五錢と下向きしが押目は賣氣旺盛にて一圓の關門を破り二十五錢と新高値を演出したるがあるも如何に無い物買に熱中しつゝあるかはいへ正米との採算上五十一圓臺は買方も躊躇の振合ひとなり折しも釜山中村一派の賣出動に二十錢と弛み頓打ち

▲第三節　當中出來不申先〇五十五錢安に寄付一圓下タマ（押目はマバラ買に再び二十錢方跳ねたるが中村一派は突然十錢化し更に猛烈に賣浴せ續々々は㋴の大利喰ひも加はり一圓下押目は買氣を進め九十錢と手堅し

▲第四節　當中更に出來ず先大阪の高噂さに買氣を促がし一圓〇一錢と寄付たるも地場筋の六十錢迫と目先手詰めに豪落を演じマバラ買に八十五錢と返して引

▲第五節　當中出來不申先大阪の安噂さに軟派猛烈に賣叩き六十五錢と寄付五十錢と追擊し手詰め押目待ちの買物に再び六十五錢と返したる折柄又もや中一派賣浴せたれば四十五錢と村崩れ五十錢摑みを掉合ひ結局四十六錢と亂調下に打止めたり

新高值亂調

場面は中限解合以來殆ど熱狂的に爆騰を繼し正米との採算を無視したる飛付買の旺盛に今朝は一圓八十錢と三十五丁高に寄付一圓の關門も無雜作に突破し

市場雜觀

二十九日 寄付 五一、〇〇 止め 五〇、八〇 高値 五一、四〇 安値 五〇、四六 ……
公定場 一節 五一、〇三 二節 五〇、五二 三節 五〇、〇二 四節 五〇、七九 五節 五〇、五三
▲報入値段 當限 五十一圓二十六錢 中限 五十圓四十五錢 先限 五十圓二十六錢
▲日出來高 六十七萬六千五百石

愈々定期は常軌を脫して熱狂的となつて來たが獨り定期のみ何故に高いか勿論買方の煽物も到底せしに因るならんも其の原因は農家の賣惜みにて正米の買附け困難を人氣を見越し一致に無い物に人氣を集注せし結果ないればする事も出現する丈買米に化すも高値を有するも其賣旛手を濟ひ傾向を有する……

京城正米市場

正米蒐集困難を噂されつゝあるが……

下關米取引所仲買 神谷米市

仁川正米市場

定期の爆發に採算買進みとなり三等合格古米四十八圓五十錢新米五十圓見當にて軟派に吸取せられつゝある模樣なるも鐵道よりたる貨物更になく何れも二百三百の小口取引に過ぎず

釜山正米市場

內地期米硬調の爲め市場活氣を呈し新穀良五十一圓十五錢（一等五十錢高）同三等五十圓八十錢（五十錢高）所にて八千叺出來古米は殆んど無商內

▲大豆も硬調にて新大豆京城二十八圓七十錢京釜二十八圓五十錢所にて一千八百叺出來古大豆は二十七圓五十錢處を唱へたり（二十九日釜山）

綿布は弗々

大阪三品市場は此數日來兎角好勢の終りあら雜當綿布界は商狀不振の折柄一般人氣尙沈滯の域を脫せざれば引締め市況不振の狀態ながら今朝は三エ一現物九百九十七圓先物一千七圓二十錢と取引行はれ徐々內地高に追はんとする振合ひにて手合ひ況活としはいひ難きも弗々取引されつゝあり

麥粉漸次昂騰

麥粉は米價高と共に漸次騰勢となりしが今は著しく高勢に轉じて內地及び滿洲に於ても同樣の成行を見せてゐるが……

大豆底强し

大豆は期米高と內地の好氣配に底意強硬を持續せるが既に相當の値頃買上けられたる揚句とて新らたに買進むべき振合ひにて今朝は新天……物は一車二十八圓五十錢に出來せり

粟取組激增

粟は單に强含み持合ひといふに過ぎざるも產地高と期米の新高値に突飛に各手筋の買氣大に引立ち今朝の出來高は八十車以上に延取引開始以來の新記錄を見るに至れり

新甫內氣配

新甫二月限內氣配は硬派の見解より觀て二三十錢の下鞘見當と唱へ居れるも正米の形勢上主張せる向あるも現代買氣熱狂の折柄とて同稍或は一二十錢の上鞘發會が至當ならんと

古現物四車二十二圓二十錢▲新物二十四圓▲新長春現物五車二十圓二十錢▲平街現物二十五車二十三圓▲中十錢……

仲買店

仁川米豆取引所仲買人 福 仲買店 電話一五八番 一九一番

演藝案內

大正館

櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞會社代理店
『昔に返る』
『添はれぬ仲』

浪花館

樋口十郎左衛門
……

喜樂館

電話九七……
……
『娘心』
『櫻子』
『獅子典膳』

黃金館

黃金町 電話二六三七
『人の情け』
『泡雪の影』
『牡丹燈籠』

佐藤病院

小兒科 內科 產婦人科 皮膚科 花柳病

黃金館

牡丹燈籠の影
大好評
人の情け

本邦人の皮膚毛髮に理想的に適合せる

◎ミツワ石鹼（みつわ・せつけん）

◎ミツワ石鹼は其製造の目的が、本邦人の皮膚毛髮に適し、且つ衛生と經濟に合するここを條件としてあるので、全く理想的の實用石鹼である、本邦人の皮膚毛髮の纖細は西洋人とは違ひ、又其美的嗜好も異つてゐるから、其洗料たる石鹼も、之に適合せしめ、皮膚毛髮の健美を保つことは出來ない、それが爲に本品は此點に細心の注意を拂ひ、十分の研究を積んで、精製されたもので、化粧用石鹼として、代表的に完備してゐる。

大形	金參拾錢
中形	金貳拾參錢
小形	金拾五錢
極小形	金拾七錢
水石鹼	金參拾五錢
	金五拾錢

內地以外は關稅運賃を加ふ

◎ミツワ石鹼は、左の誇るべき條件を具備してゐるので、石鹼を使ふ以上は本品に限るのである。

一、原料の嚴密なる精選は、脂肪に香料に、苟も刺戟を感ずべき成分あるものを用ひない。
一、本邦人の嗜好に適する溫雅な芳香がある。
一、適度の溶解性を備へて、能く水にも溶解し、而も浴室に用ひて半途に溶け崩れる憂がない。
一、本邦人の皮膚毛髮の洗滌に最好適である。
一、頗る實用的なる故に家庭經濟に叶ふ。

ミツワ家庭藥 ◎ 肝油ドロップス

東京市日本橋區馬喰町四丁目 丸見屋商店 營業部電話浪花三〇四八・四四九・四五〇番 振替東京一七〇番

NOTICE! RED CAN NOTICE!

RED CAN is the best medicine for BOWEL and STOMACH TROUBLES.
The RED CAN is HOSHI ICHOYAKU.

Why HOSHI ICHOYAKU is the best?
Because
1. All materials used for HOSHI ICHOYAKU have gone thorough and rigid tests of our own Laboratory.
Only the very best qualities can pass through the tests as O. K.
2. Our Factory is the largest of the kind in the Orient, with all newest and most improved apparatus and machines.
Many well known Specialists—Sc.D., M.D., Igakushi—are personally engaged in the manufacture of the medicine.
That is why our RED CAN is so efficacious.

PRICES:—20 sen, 50 sen, ¥1.00.

赤い鑵

胃腸病には赤い鑵の藥が一番よく効くと云ふ大評判
赤い鑵の藥はホシ胃腸藥

△ホシ胃腸藥のよく効く譯▽

ホシ胃腸藥の原料は一々本社工場の試驗部に於て嚴密なる試驗を遂け有効成分を完全に具備するに非れば使用せざるが故に其の品質の優良なるは絕對に信用を措くを得べし本社工場は規模の宏大にして設備の完全なる東洋第一の稱あり技術者としては博士ドクトル學士等の最高の專門學者ありて自ら親しく製藥に從事するを以て其効力の的確なる當然の理なり

胃病良藥
ホシ胃腸藥
定價 廿錢 五十錢 一圓

東京京橋南傳馬町
星製藥株式會社
電話京橋四一七番 振替東京二〇五二番

伊達騒動

小金井芦洲講演

第七十三席

奇妙院の觀相

奇妙院が是れだけは申上げられぬと云ふ、兵部殿を進めて兵『最早其方は異なことを申すではないか、其方の申したことをば尋ねれば其餘は尋ねて呉れるなと尋ねなければ相成らぬ　奇『イエ何事ぢや、如何なる譯か是非修驗者の身として口にすべからざることでございますから申上げることは成りませぬ　兵『これは又愈々異な言葉、唯四百四病の外なりと申たのみにては更に御病名が相分らぬ、從つて醫師共も治療の道に迷うであらう、申せ、申さんとあれば小柄で口を割つても申させて見せるが什麼ぢや　奇『恐れ入りました、左様なれば私に御疑ひの掛りますのも誠に是非なき故申上げ奉ります、御當家に對するが他に然るべき調伏の祈りを致して居りまする者がござります、其れに基づく御惱みかと存じまする』聞くより松前淺間其他の面々アッと云つて顏の色を變へました　兵『ホヽツ、調伏の祈り……其方唯一遍の祈りを上しのみ、一遍經文を讀誦して燃上がる護摩木の上に御身を移し薬が燃落ちたのに、逆の祈りを致して居る者があると云ふのは夫りやア如何なる神秘あつてのことか知れねど、我等は甚だ疑はしく存ずる、六十有餘萬石、伊達の御當主を調伏の祈りに掛け奉ると聞き捨てならぬ汝の一言、證據あつてのことか、無稽の人騷がせを申すと手は見せんぞ』奇妙院微笑んで　奇『無稽のことを申上げてナニ相濟みませう、修驗の法に由つて立派に相分つて居ります　兵『我等が見て會得すべき證據があるか　奇『ハイ、斯様成りましては致し方がござりませぬ、何も彼も上申仕りませう、就きましてはお館御相貌の儀を一應拜見仰せ付け下さいまするやう、此儀御許しを願ひたう存じます　兵『オヽ苦しうない御觀相申上げろ　奇『ハツ、有難き仕合せ……』ズイと立つて上段の間に進まうとした時に松前鐵之助が眼色を變へ　松『アイヤ、夫りや御後見樣何成りますまい、今日初めて罷出でました奇妙院とやら申す修驗者、氏も素性も定かならざる者を大切な御幼君の御傍へ近付け參らすることは容易ならず、役目の表、手前は不承知にございます　兵『イヤ／＼苦しうない、予のみにあらず奉行原田甲斐其外一同の者御席の場所、御惱御平癒を致し參らするための御觀相、苦しうない奇妙院篤と拜見ないたせ』斯う云はれましては鐵之助も傍觀をして居るより外に道がなくなりました、徐々と近附いた奇妙院血眼になつて御傍に控へて居るのが淺間松前、若し無禮を致すに於ては一刀兩斷に斬つて棄てんと見張へました、奇妙院は天眼鏡を出し幼君のお顏をジイツと見て居つたが、無禮千萬にも　奇『ハヽーツ』と云ふ溜息を吐き、膝で以前の所へ下つて參りました、兵『如何ぢやな　奇『恐れながら天庭より地角に掛けて悪氣二タ筋を帶びてあらせられます、天庭と申上ぐれば申す迄もなく御額、方角に取つて東、天日の昇りまする方に祭ります、地角と申上げれば頤のこと、これは西に祭りまする、日輪西に既に沒するの形あり、恐れ入りましたが御危篤でございます、御病間より戌亥に取つて隔たりましたること三十六間、大地一尺四寸を堀下げまするご、愛に調伏の證據物が埋けてござりまする、早々堀起しまれば君の御不癒疑ひなし……』愈々以て一座の人々驚いた　兵『ウム、左樣か、ソレ』と云ふと兵部小輔は四邊の人々に向つてこれを堀起すべく命じました。

將棋新手合（四）

於京城賞金町三丁目二二五　諸岡本將（電話二〇二八）

左香落　△京城熊谷順太郎（三段）　▲釜山園田豐（二段）

（圖は前號指了迄の局面）　△持駒熊谷氏歩

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
	桂				飛	角	桂	香	一
				金		王			二
	歩	銀	歩		歩	歩	歩		三
歩					歩			歩	四
	歩	歩	歩						五
	飛		銀	歩				歩	六
飛		桂		角	歩	歩	歩		七
				金			玉		八
					金	銀	桂	香	九

三手目四四歩より

△七四歩▲同銀△八四歩▲八二飛△四六角▲五五歩△同銀▲同銀（ヌ）△同角▲七六歩△同飛▲八四飛△八五歩▲七五歩△八四歩（ル）▲七六歩（以下次號）

溝呂木六段講評

▲（ヌ）同銀惡し此處は四五銀三五角八五歩七一角なる八四飛にて指よし

△（ル）八四歩惡手なり此處六六飛九四飛八二角なると指す方優れり

キャラメル

京城長谷川町朝鮮温泉前
內科 婦人科 花柳科 一般外科
岩田病院
正五位勳三等　岩田末彦　入院隨意（電話一六二〇番）

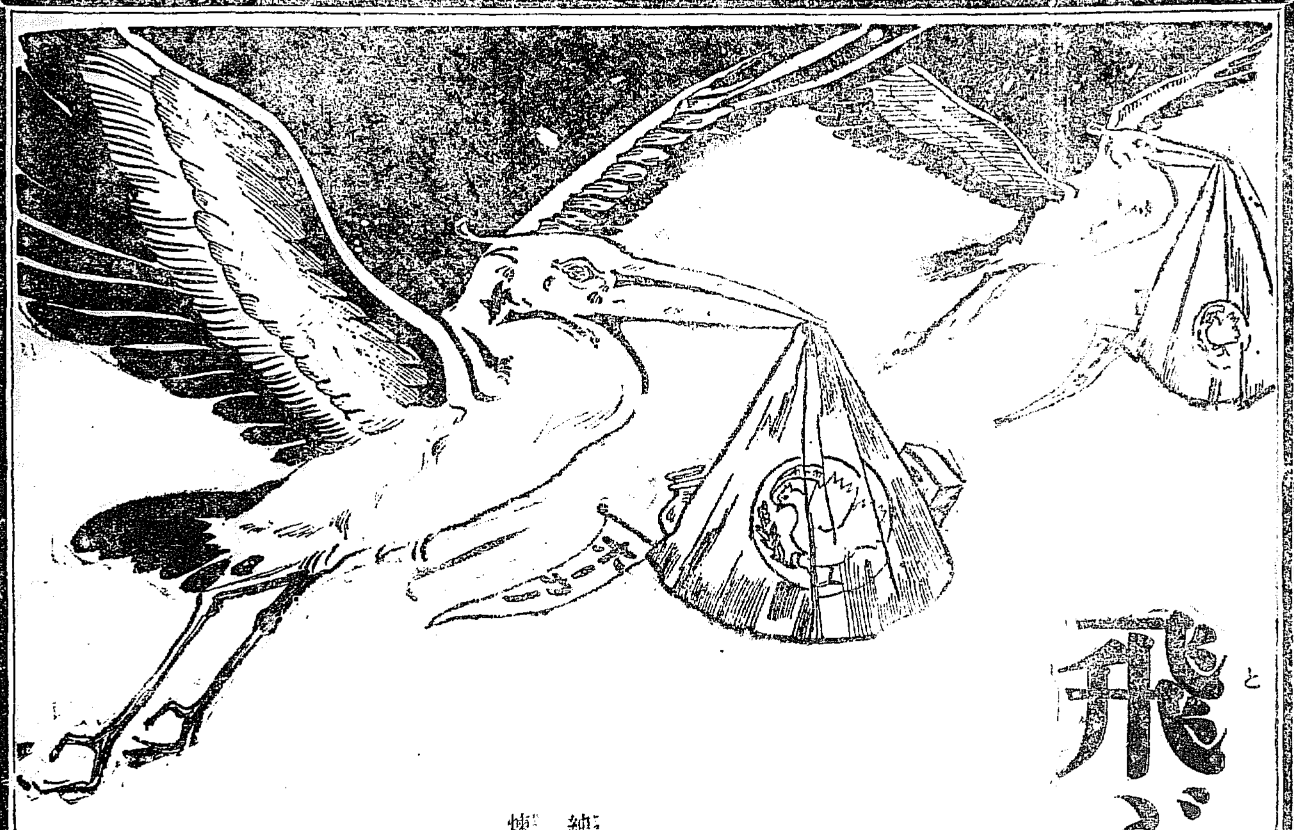
人參エキス
京城本町壹・電話一四八〇〇番 一八七〇〇番
㋡津村兄弟商會

十二月一日（日）

▼一白△念に念を入れて爲る日
▼二黒△見込みの外るゝ事あるやも知れず但し金錢に縁ある日
▼三碧△結構なる日にて且つ金錢に縁ある日なれども交際注意
▼四綠△好き事ある日なれども調に乘つて妄進せば却つて凶
▼五黄△山つ氣の出る日なれど商法は常業以外の事は考ふべし
▼六白△物ごと或は延引勝ちなるやも知れず常業に精勵せば吉
▼七赤△動き迷ひの起ることも能く考へた上にて意を決すべき
▼八白△名譽の日にして諸事の如く運ぶべきも宗進注意の事
▼九紫△仕事の仕榮のする日にして誠實なれば事成功すべし

眞鍮、銅、ニッケル、鉛、金銀其他ノ金屬ヲ磨クニ手數ヲ不要ニシテ而モ質ヲ痛ムコトナク、然モ價格低廉ナリ故ニ御家庭ノ常備品トシテ一般ニ歡迎セラル
ユートピア
一名金屬磨液
定價 一磅一圓 半磅六十錢 送料十八錢
京城日報社代理部 振替京城三〇

洋鐵鋼、諸機械
工具附屬品一切
金物商
月刊物價表 御申越次第進呈
白神洋行
京城南大門通
白神洋行支店



飛ぶやうな賣行

工場は何れも連日連夜の大活動

白粉の數は尠くないが是れを化學的に分析して見て絶對に無鉛無害を立證し得るものはホーカー白粉の他にはない。それに在來の白粉に必ず附隨して居た凡ゆる缺點例へばノリノビが惡の如くならぬとかムラが出來て折角の化粧が少しも引立たず反つて天性の美しさを損ふとか、お化粧は結構だが其のために晴衣の襟や袖を汚しにするとか言つたやうな不安を根本的に一掃した白である。近來注文殺到してさしもの大工場も不足を告ぐるに至り生産高が全國第一位であるのも決して偶然ではありません。

東京中の白粉品評會にて第一等に當選せる

純無鉛　煉製

ホーカー白粉

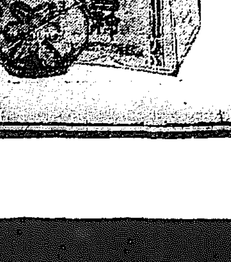
晩秋のお化粧は最も注意が要る！

粗悪品を用ふれば肌の根底より破壊して一生取りかへしのつかぬことゝなる。婦人一生の幸福のため日本の婦人美を世界的に向上するために、日本には『ホーカー白粉のほかに白粉なし』と謂はれるまでにならなければならない、――一切に御愛用を薦む。

特色
□白さが天然らしく美しい
□ノリノビ好きこと比類なし
□絶對に變色する憂ひなく
□被覆力强くムラを生ぜず
□ロヤケ肌アレの害を防ぎ
□襟を汚さぬ新發見の白粉

全國到る處の雜貨店洋品店化粧品小間物店藥店にて販賣す。若し品切の節は振替又は三錢切手代用にて直接本舖へ御注文下さい

定價 一瓶 二十五錢　送料 内地 六錢



ホーカー白粉
ホーカー白液粉
ホーカー美髮液
ホーカーパツト

東京神田和泉橋
本舖 堀越嘉太郎商店
電話神田 一四三一・一四四一・一四五
振替口座東京 一五六

忘れました

忘れました、味の素を使はないと
ドテモ不味くて食べられません

味の素

あらゆるタベモノのアヂをよくする

內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二七二・一三九〇番

淸酒
賀茂鶴
廣島縣西條町 釀造元 賀茂鶴酒造株式會社
京城府鍾路公平洞 發賣元 河野酒店 電話二〇八番
龍山元町二丁目 特約店 松屋商店 電話六八番

資本金 六百萬圓
積立金操越金 百貳拾五萬圓
株式會社 十八銀行京城支店
京城府黄金町二丁目 電話四二〇番・五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 新龍山支店
京城府漢江通り拾參番地 電話五五〇番 振替口座京城一八貳二番
同 龍山出張所
京城府元町二丁目 電話一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

京城日報
（年中無休刊）

本紙	壹ケ月	金壹圓（郵税共）
發行兼編輯人	奥田直毅	
印刷人	小川三之介	

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 長六千九百一番 振替京城三〇〇番

京城日報

警戒の時期
新事業の濫興に就て

事業熱の旋行は昨今に至り殆ご頂點に達したるものこいふべく、試みに數字面に現はれたる所を見るに、昨大正七年の事業界の好況を受け、前期未だ曾て見ざる所の、二十六億七千六百萬圓の數字を示したるが、本年に入りては更に一層の氣勢を加へ、去る十月まで既に二十八億五千八百萬圓を算し、昨年の二億二千三百萬圓に對し十億八千五百萬圓といふ約二倍強に比し、之を月割に平均すれば、八分の増加を示し、特に著くべきは、本年一月以降七月までは、一個月最低一億五六千萬圓より最高三億圓の間に在りしものが、八月に至りて俄然こして四億三千三百萬圓に激増し、越ねて十月には五億九千萬圓に躍進し、之を昨年同月の二億一千萬圓に比するこきは約三倍強、又一昨年同月の一億六千萬圓に比すれば實に約四倍弱の激増を示し、更に[illegible]の二千二百萬圓に比す[illegible]鉅額にして、人をして一驚を喫せしめざれば止まず。而して其の理由はいふまでもなく戰時に於ける輸出超過の引き續きに依り、莫大なる正貨の流入あり、日本全國に空前的資金の波を漲はし加ふるに頻年米價の昂騰が地方農民の懐を豐にし、次第に投機的事業計畫の野心を唆り立てたるに由るものにして、經濟界に於ける必然の現象こもいふべきものなるが、何がさて猶も杓子も事業計畫こ會社創設に浸頭する場合には、例の粗製濫興の泡沫的分子が交ふるは免るべからざる所にして、吾人は本月十九日の本欄に於いて『新會社こ投資者』こ題し、其の一斑の狀況を述べて警告を試み置きたるが、更に之を補足するの必要を感ずるに至れり。

從來財界の好況に伴ひ、事業の勃興する場合に現はれたる投機熱は、大抵一部の會社屋事業の範圍に限られ、國民全體より之を見るこきは、其の相伏盛衰は殆ご物の數ならざるの觀ありしも、現在の狀況は財界こは直接の關係なき多數の人士を包含せるこなれば、一朝反動期の來るに遇へば、其の波瀾の及ぶ範圍は頗る廣汎にして、從つて其の慘害の大なるを想像せざる能はず。而して其の反動は如何なる場合、如何なる時期に於いて襲來するかこいふに、固より之を豫測し得ずこ雖も、近來中央銀行に於ける南度の利子引上、各地銀行の一齊警戒の如き、いづれも反動襲來に對する豫防こ見るを得べく、投資者たるもの此際斷じて汗濁に乘り過ぎたる行動を愼まざるべからず。新事業計畫中には、健全にして將來大に見込あるもの固より少きに非ず。而も財界の關係なるものは頗る微妙にして、他に不健全なる計畫のものありて、來る反動期に於いて眞ッ先に打撃を受け、其の同種のもの事業倒しに倒れ去るこきは、健全なる分子も亦其の捲添みを食ひ、同じ濁浪の中に漂はさるゝを免れざるを常こす。殊に目下の如きもの、倒るゝは自業自得にして、致方なしこ雖も、之がために迷惑を受くる大多數の人は洵に氣の毒に堪へざるなり。要するに今は正に財圈の口を引締むるの時機にして、所謂會社屋事業師等の口車に對しては最も警戒を嚴にすべきのみ。

現今の社會事業（一）
米國哲學博士 ウーヅ博士講演

本講演は當時入城中の米國哲學博士ロバート、エー、ウーヅ氏が本社主催の下に去る十九日日出小學校に於て開催せし講演の大要なり實は疾くに掲載すべき筈なりしも記事輻輳の爲延引し漸く本日より掲ぐることしぬ敢て諒察を乞ふ

先づ私の申上げたいことは今日の世界就中亞米利加の社會に於て一つの新しい運動が起つて居ること云ふことである。それは即ち社會事業である。私が社會事業こ云ふのは、適當の教育を受け、比較的幸福な境遇に居る所の人が其の幸福、智識を以て、是れを自分の隣人に分ち與へ、其の生活狀態を以前よりも改善せしめ、猶ほそれればかりでなく、今日は總て世の中のことが六ケ敷くなつて來て居るが、斯る場合に於て種々の問題に逢着しても、よく是れを解決し得[illegible]だけの力を與へ、個人こして其の人格を高めるこ同時に、國民こしても強い、力ある生活をすることを得せしむる。是れが此の社會事業の目的である。文明の進んだ國に於て社會事業が企圖せらるるに至つた起源は是れを吾々人間の身體の働きに就て觀察して見ても直に判る。お互の有する一個の身體の中には色々の機關が活動して居る。[illegible]達するこ[illegible]こが出來ないのみならず、其の身體は是れが爲め、だん／＼衰へて行くここになる。今斯くのごこき現象を國家に就て考へて見るに、國家の或る一部分が無暗に發達するに反し、一方に於て頓こ發達し得ない部分があるこしたならば、其の國全體の發達は阻害され、必ずや大變なる不都合を惹起するのである。英吉利の倫敦の市に於て東部倫敦に貧民の集合して居た有樣は正に其の實例であつて、此の貧民の集合地は取りも直さず身體に或る部分の供給せられない或る部分のあるが如く、英國社會の一大缺陷たるここを現はして居た。是れでは大なる英國の十分なる發達を遂けるこは出來ない、こ云ふここからして茲に社會事業なるものが初めて英國に於て企てられるここなつたのである。英國の人々は自分の宗教的觀念から、又自分の國家に對する義務の觀念に動かされて、吾等は英國の社會の何の部分にも營養を廻らす樣にしなければならぬ、それには何うしたら宜いかこ云ふここに就て考へ始めた

生別死別
＝（不許轉載興行）＝
服部硯月

第五九 心盡し

一夜明くれば明治卅九年の春こなり、世は露國を膺懲した凱旋將士の歡迎に津々浦々の涯まで歡呼の聲に滿ち／＼てゐる。澁谷の家では大晦日の晩の混雜より思ひ掛けなく砥上等の訪問を受け、少からざる贈物を受けたが、却つて餘りの巨額なるに躊躇して、井上の來る迄こ手も付けず、居留は云はずもがな、母子も雜煮餅さへ膳に上さず、何かに向ひて、曾て覺えた事のない淋しい元旦を迎へた。

三日の朝、井上は三浦の寓居を訪れた。

『先晩は全く面目次第も御座いませんでした、飛んだ御心配をお掛け申しまして……』

『ごう致しまして、御心配なさらないやうに、彼の晩は全く奇遇でした、私さへ係合ふこ云ふのに、砥上さんに迄お出合申すなんて……』

『未だ私の方からはお禮にも出ませんが』

『昨日、それこなく年始に參りまして、私から代つてお禮を申して置きました』

『まあ恐れ入ります、それに就きまして實は貴郎のお出をお待ちして居りました。手土産（の代りかこ心得ましたら、餘りに大金なので』

『幾ら御座いました』

『百圓こ云ふ大金ですもの』

『百圓ですか』

井上も暫らく考へた。

『ちこ多過ぎますね、併し構ひますまい、砥上さんの家は五十萬以上の資産家ですから、先方には其位の金額で別に痛痒を感じてゐられますまい、私共の身に取つて申しますこ、お銚子が一本位の物です、時に依りましては欲のない私共でもお銚子の一本位散財する事も御座います、お嬢さんの御成業の曉には又御恩返しの時節も參りませう』

『實はそれで、貴郎の御意見も伺つてからこ、手も着けず、其の儘にして御座いますの』

『何、お使ひになつて宜しう御座いませう、又何ごか、御相談に[illegible]は私が預ります、昨日もそれ[illegible]の額こは知りませんでしたが、厚くお禮を申し述べた處、先方では此後共決して遠慮せずに[illegible]うて寄越して呉れ、萬一それ等の事で御兩人の御健康を傷はれるやうな事があつてはならないからつて、夫れは／＼親切に仰しやつて下さいました』

『左樣で御座いましたか、それでは勿體ないが頂く事に致しませう、そして一度御禮に參らなければなりませんが、何時頃に伺つたらよござんせう』

『さうですね、昨日も彼方のお孃さまが、今日にもお遊びに參るこ云はれるのを、兄さんが頻りに止めていらッしつた位ですから、七日も過ぎたら、お孃樣の方からいらしツた方が宜しいでせう』

『井上さん、あのお屋敷は何方でせう』

『芝の高輪です、高輪御殿の少し南の方ですから、あの邊でお聞きになつたら直ぐ分ります、外務省に出てゐられる砥上さんこお聞きになつたら』

新春藝苑
投稿歡迎

- 漢詩『賦得田家早梅』（不限韻）
- 短歌『初春雜詠』（一人十首迄）
- 俳句『初化粧』（一人一句迄）
- 隨筆『隨意』（一人二題以內）

（注意）締切十二月十五日、鐵筆を除く外用紙半紙型、鐵筆は實物を要し印影は取らず、京城日報社編輯局新春藝苑係の事、鐵筆の返附を要する人は郵税を添へられ度し

[illegible]で政府の前途に關し當業者の融通を期待せし[illegible]の需要を喚起せず[illegible]見て）の内十五萬噸は全く消化せざる限り大勢は市價の低下なるが故に内地相場が此大勢[illegible]は何人も認むる所にして若し[illegible]

我生産業者が[illegible]六十五[illegible]六圓乃至六十四圓見當にて合ざりし[illegible]

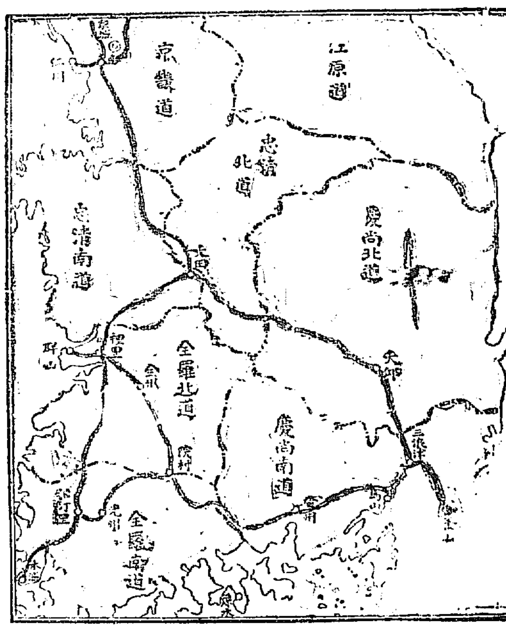
コール市場は休日前に當りた取引なく月越コールは一錢四五[illegible]三厘を呼び又前[illegible]は一般銀行の一致する所にして[illegible]前日の割引市場は前日通り一錢二厘五毛、擔保付出あり兌換券五百四萬餘圓こな[illegible]前日に比し七百九十二萬[illegible]したり

山笹章著
ウツボヤ書店發行

新案獨學 イロハ辭典付
鮮語自在
ポケット形二百頁 定價金六十錢（送料貳錢）
上製クロース 定價金八十錢（送料四錢）
發賣元 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

南朝鮮鐵道株式會社株式募集

南朝鮮鐵道線路略圖



（……印ハ當社ノ計畫線路）

事業の目的
本會社は京釜線烏山驛を起點こし湖南線松汀里驛に至る約百五拾七哩及院村より分岐し全州に至る約四拾七哩合計約二百四哩の鐵道を敷設し三道の首府を連ね郡府廳の所在地たる十餘の都市こ五百有餘の村落こを連絡し一般運輸業及土地開拓、植林、倉庫業、運送業、委託賣買業等の附帶事業を營むを目的こす

本會社の特色
沿線一帶は氣候中和地味肥沃にして農産全鮮に冠絶し森林、鑛山及水産の豐富にして眞に朝鮮の寶庫こ謂ふべく又人口最も稠密し本線が朝鮮鐵道中隨一の線路たるは世人の齊しく認むる所なり、加之會社設立後は朝鮮總督府より拂込金並に借入金に對し利子補給の特典あるを以て本業が極めて安全有利にして且つ益々進展すべき將來を有するは吾人の確信する所なり、若し夫れ附帶事業の多望なるに至ては特に喋々するを要せざるべし

公募の理由
株式の引受は發起人及賛成人に於て既に超過せりこ雖も元來本事業は國家的事業にして政府の保護あるものなるを以て獨り關係者のみにて之れを私すべきに非ず茲に株式の一部を割き公募に附する所以なり

募集要項
一、資本總額　金壹千萬圓（株式總數貳拾萬株）
一、壹株の金額　金五拾圓
一、募集株數　壹萬株
一、申込株數單位　拾株
一、申込期間　大正八年自十二月一日至十二月五日
一、申込證據金　壹株に付金貳圓五拾錢
一、募入決定方法　應募株數超過の場合は發起人に於て適宜決定す
一、第壹回拂込金　壹株に付金五圓（但證據金併算）

大正八年十一月　發起人總代　藤田謙一

發起人氏名
東京 山下龜三郎　同 植村俊平　同 下坂藤太郎　同 佐田家年　同 松本勳一郎
東京 藤田謙一　同 金光庸夫　同 長崎英造　同 鹿島精一
東京 鳥谷部末治　同 一戸金太郎　神戸 金子直吉　同 鎬谷正郁
兵庫 石橋爲之助　福岡 土屋新兵衛　京城 釘本藤次郎　同 小山庄三郎

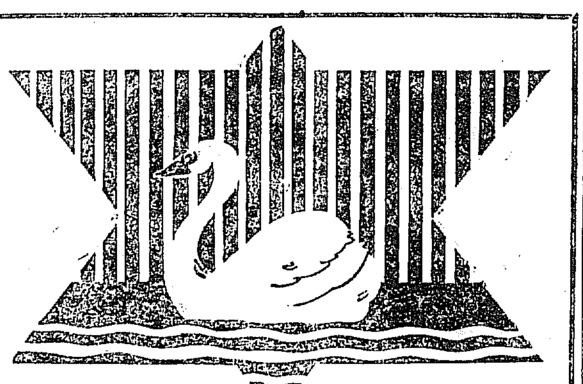
株式申込取扱銀行
東京 川崎銀行　同 第一銀行丸ノ内支店　同 三井銀行支店　同 朝鮮銀行支店　同 漢城銀行支店　同 臺灣銀行支店　名古屋 明治銀行支店　大阪 三井銀行支店　同 第一銀行支店
神戸 六十五銀行本支店　同 三井銀行支店　同 臺灣銀行支店　同 第一銀行支店　下ノ關 百十銀行　同 三井銀行支店　同 第一銀行支店　釜山 朝鮮銀行支店　同 朝鮮殖産銀行支店　同 第一銀行支店
京城 朝鮮銀行　同 朝鮮殖産銀行　同 第一銀行支店　同 漢城銀行　馬山 朝鮮殖産銀行支店　晉州 朝鮮殖産銀行支店　全州 朝鮮殖産銀行支店　光州 朝鮮殖産銀行支店　南原 朝鮮殖産銀行支店

東京市麹町區永樂町一丁目一番地 東京海上ビルディング六一四號室
南朝鮮鐵道株式會社創立事務所
電話本局三五七四番

最新刊

書名	著者	定價	送料
性欲の教育	西[illegible]朝	一、八〇	八
民本主義の[illegible]		一、八〇	八
工場勞働	佐[illegible]克二	三、〇〇	一〇
投資及證券	田尻稻次郎	四、〇〇	一八
滿鮮遊記	大町桂月	價貳圓參拾錢	送料八錢
利益分配の理論と實際		一、八八	六
マルクス派社會主義		一、五〇	六
論文の書方	法律研究會	一、二〇	六
株式必勝研究	柿沼	三、二〇	六
春葉全集	故柳川春葉	貳圓八拾錢	送料十二錢
處世訓	澁澤榮一	一、五〇	六
永遠の平和	五嶋行雄	一、五〇	六
トンボの目玉	北原	一、八〇	八
養生哲學	[illegible]	一、四〇	六
朝鮮の冬と防寒	矢野國太郎	定價參十五錢	送料四錢
三式呼吸	長谷川	二、〇〇	八
滿記會計學	後藤	一、五〇	一〇
模範[illegible]		一、〇〇	八
標準かるた 評札取札		各七五	各六
練習用かるた讀取		各六〇	各六

京城本町一丁目
大阪屋號
電話[illegible] 振替京城[illegible]



スワン石鹸

絶對純潔の
スワン石鹸にて身を淨め
サンライト石鹸で洗ひ上げた雪白のシャツを
まこひ――
お仕事にかゝる人は
終日――
爽然、快然!!
更に優然!!!

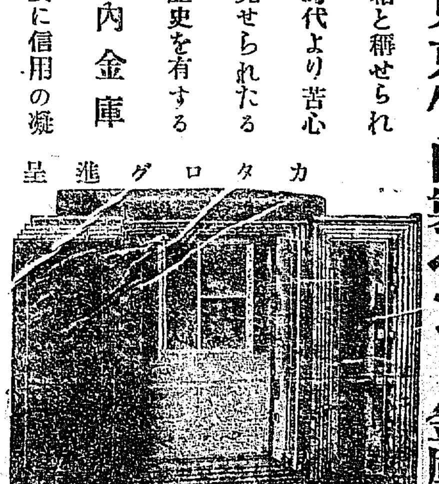
製造元
日本リーバーブラザース株式會社

(21)

東京竹内製ペンド金庫

弗箱と稱せられし時代より苦心研究せられたる活歴史を有する竹内金庫は實に信用の凝塊なり

カタログ進呈



京城 熊平支店
電話 長六二四番 長[illegible]番　振替京城[illegible]番

十二月一日より三日まで
三日間（毎日午前九時開店）
三越の大賣出し
呉服、雜貨 格安品澤山
三階に於て

京城本町
三越呉服店
電話長六〇二二番

平和遲延責任

最高會議は平和克復遲延は獨逸政府の責任となるべき旨發表せり(巴里電報)

土耳其講和要求

土耳其政府は最近に於て講和會議に對し重大なる理由を指摘し講和締結並に土耳其問題の解決を求めたり(君士坦丁堡電報)

塞爾維調印か

塞耳維は對勃條約に調印す可し(巴里電報)

伊革命擾亂惹起

首相は事實無根と打消す

伊太利北部地方に重大なる革命的擾亂起りたるが右は君主政治に反對せる社會黨新代議士の多數により惹起されたるものなりとされど此の形勢に對し軍隊は重大視し居らず尚首相の聲明に據れば此報道は事實無根なりと(羅馬電報)

獨逸軍動員問題

聯和最高會議は頗る多數の獨逸兵士がフレスブルヒ及び臓民投票の行はれつゝあるシユレスウヰツヒ地方に於て動員せられたる旨を聞知し右兵士が該地方の土着民らしきに鑑み右の調査を命じたるが右問題は頗る重大視せられ居れり(巴里電報)

獨逸委員歸國

獨逸委員は巴里より伯林へ歸還せり(巴里電報)

コ將軍內閣組織

コルチヤコク將軍は新內閣組織中なりと傳へらる(哈爾賓電報)

靳總理辭職乎

二十八日衆議院に於る閣員同意投票の結果張思澤、夏壽康兩氏を否決其他を通過したるが或は靳總理の辭職を見る可し(北京電報)

福州問題嚴重交涉

國務會議の結果日本陸戰隊の福州上陸に就き一面には小幡公使に對し一面には駐日公使をして日本政府に嚴重交涉せしむるに決し又各省軍務長官に通電し中央政府は福州問題に就き極めて注意し目下交涉進行中なれば各方面に對し靜に解決を俟つ可しと訓令せり(北京電報)

福建學生不穩 檄文撒布

在北京福建學生は排日運動を爲し各所に檄文を撒布せり(北京電報)

高田師團愈出動

二十八日の閣議に於いて高田師團(第十三師團)一個旅團を西伯利亞派兵補充として出動せしむるに決定したるが近く出動命令下る可しと(東京特電)

元帥會長乎

新村元帥は在郷軍人會長たるべし(東京電報)

高工昇格運動

過般來學校昇格運動を爲しつゝあり東京高等工業學校生徒等は廿八日夜文相邸に到り陳情書を呈せるが文相は此際直ちに昇格を爲し能はざる旨を述べ陳情委員を歸したるが學生等は昇格要求を斥けらるれば退校すとの決議を爲したり(東京電報)

排日運動中止

支那武漢の學生排日運動を開始せんとせるも中止さる(北京電報)

事業資金

鮮銀の態度

新事業勃興の結果此の方面に於て資金を要する事多く金融界はその緊縮の度を一層強むる現狀にて朝鮮銀行は相當此の大勢に對し對策を執る必要あるべ[illegible]營業當局者の談[illegible]

營業當局は[illegible]朝鮮銀行[illegible]業銀行家の意見なるが[illegible]家の說は議論とし[illegible]し乍ら朝鮮銀行に[illegible]結果資金の急需ありた[illegible]ちに創業資金に融通をなす事は[illegible]到底忍び難しこれ鮮銀が新事業[illegible]創設方面にも放資を行ふ事とせ[illegible]ばさなきだに浮つ調子の觀ある新事業は更に浮つ調子となり其結果は面白からざる事態を誘起[illegible]

獨逸の印象(一)

在伯林本社特約員 合上生

物價騰貴は今や世界到る處の國民生活を脅かしつゝある大問題である、殊に四年に亘る聯合國の封鎖を喰つた獨逸、漸く平和克復し封鎖の手は緩められたとは云ひ條聯合國自ら物資に窮しつゝある今日、事實上尚依然として封鎖の域を脱すると云ふ程度に止まつて居る獨逸に於ける物價騰貴の勢は正に滔々として底止する所を知らず、國民窮乏の色は到る處に漲つて居る、獨逸に於ける物價の珍現象は殆ど總ての日常生活品が

二種の價格

を有して居ることである、即ち一は法定價格で他は密賣價格である、開戰と同時に獨逸に對する食糧輸入の途は大部分鎖され更に[illegible]の開始は遂にスカンヂナヴイヤより食糧を得る外殆ど食糧輸入の道を杜絶せしめ獨逸國民は遂に全く其の食糧の全部を國內に求めねばならぬ狀態となるに及んで、政府は農家其他の生産者を排し斷乎として食糧制限を斷行し、殆ど總ての食糧品に對し所謂切符制度を採用して各品目の價格を一定した、即ち法定價格は之れである、該制度の要領は先づ獨逸國內に於ける

食糧生産者

たる農民が要する食糧を差引き其の剩餘を擧げて政府の管理に移し之を切符制に依て分配するにある、但し管理と云ふも其の剩餘分は悉く一旦政府の占有に移し更に之を[illegible]分配するこ[illegible]ふが如[illegible]理し[illegible]家に[illegible]

[illegible]て農民の懐中が膨れる程政府の管理に屬する分の食糧は減した、更に奸商の手に依つて都市に運ばれた食糧は當然法外な値が附けられた、所謂密賣價格は之である、密賣を取締る爲には固より

嚴重な罰則

がある、一流のホテルで密賣の廉を以て營業停止を喰つたのも澤山あつたそうだが、滔々たる密賣の風は遂に之を防止することが出來ぬ、今では殆ど公然の祕密であるかの觀がある、市內の各席なぞでは恰度日本で待合の藝妓と御客のチヤクリ合ひが噺家の唯一の標題であるやうに密賣のことがおもしろおかしく歌はれる觀客の方でも別に異とする色なく、他愛もなく笑つて居る、現に伯林市內に於ける一流乃至二流のホテルやレストラントで密賣に依らぬものはないと云つても可い、寧ろ金さへ拂へば何んな贅澤なものでも喰へる、寧ろ食料の豐富な點に於ては巴里に勝るの感があるが之等は即ち悉く皆

密賣の代物

である、此等の値段は法定價格に比し當然非常なる差がある、概算することは困難だが先づ密賣價格は法定價格の三倍乃至十倍の見當である、但し物に依り場合に依つては二十倍三十倍に達するものもある。

開戰前に於ける獨逸の日常生活品の物價と現在の夫れとを比較すれば法定價格に於て概略三倍乃至六倍の騰貴である、試みに之を表示せば

品目	戰前價格	現在法定價格
[illegible]ン	〇、三〇(一封度)	一、四五
[illegible]	一、四〇(同)	六、乃至七馬
[illegible]	〇、二二(一リツトル)	〇、八〇
[illegible]	[illegible](一封度)	一〇、〇〇
[illegible]	[illegible]	二、〇〇
[illegible]	[illegible]	一、四五
[illegible]	(一封度)	〇、二〇
[illegible]	(一個)	〇、四五
[illegible]	(一封度)	一、四〇
[illegible]	六馬(同)	〇、二五
[illegible]	(同)	一八、乃至二〇
[illegible]	(一ブリツケツト)	一三、同 一六
[illegible]	〇、〇五(一個)	〇、二五
[illegible]	〇、二五(三時間に付)	四、〇〇

ればコーヒーの如き約十五倍、菓子の約十五倍等非常なる騰率を示して居るが、國民の主要食物たるパン、肉類、野菜、砂糖等が二倍乃至三倍の騰貴率に止つたのは驅兌食料管理制の賜物として之を賞せざるを得ない、尤も是等の物資は法定價格を以てしては自由には得られない[illegible]

[illegible]に於ける[illegible]弱い部人士連[illegible]は自働車を驅つて密に[illegible]直接農家に走つた、其處では[illegible]隨分高い値が拂はれた、そし[illegible]

日露貿易狀況

日露協會最近の調査に依る九月中の對露貿易狀況を聞くに輸出額二百六十三萬五千餘圓輸入額四十二萬八千餘圓にして之を前月に比すれば輸出額に於て四百三十二萬五千餘圓を減少し輸入額に於て七萬五千圓を增加せり輸出入品中十萬圓以上のものを揭ぐれば左の如し

△輸出品の部

綿布	二六八、〇〇〇	煙草用紙 一四〇、〇〇〇
日本紙其他	一四四、〇〇〇	酒用巾 三二一、〇〇〇
綿紗	二〇三、〇〇〇	小包郵便物 一五四、〇〇〇

△輸入品の部

小麥	一〇〇、〇〇〇	小包郵便物 二三五、〇〇〇

森林鐵道募株

朝鮮森林鐵道にては既報の如く十二月一日より四日まで三萬株を內鮮同時に公募すべし同鐵道の趣意書は左記の如く且つ發起人は內地の錚々たる實業家を網羅し近く姉妹會社たる朝鮮工業株式會社の株式を割當つる豫定の由なれば內地の人氣沸騰し鮮內にても應募を待ち構へ居る者多きにつき結局非常の超過にて締切る事とならん

創立趣意

鴨綠江上流及豆滿江流域に於ける森林は廠府の營林廠に於てまた國營として[illegible]町歩蓄積九億餘萬尺締を算すと稱せられ朝鮮に於ける森林の大部は實に此處に存せり[illegible]を開發せる原生林にして其の開發に多年の年月と多額の資本とを要し右本多く運搬の便に利用の方法を得ずして朽ちるに委ねし[illegible]

〆の經濟の一大損失に亦なし然も行程遠くして流送の途に腐朽に了らんとするもの少なからず是等森林の蓄積を思ふに多く鴨綠江下流に於て大に其の材料の[illegible]を異にし所謂流送の期間長きに亘り其の經濟的利用を論ずるは一大森林に對し[illegible]事の必要は[illegible]を許可せらるゝ所以なり[illegible]森林鐵道の敷設に待つの外策なきに[illegible]

會頭承諾

美濃部氏 形勢急轉す

改選後の京城商業會議所の會頭は本現副會頭等極力鮮銀總裁美濃部俊吉氏の推薦に努めしも同氏は廿四日口頭を以て釘本氏等に一應就任し難きを答へ更に二十七日鮮銀を以てその旨通告を公式に致したるがその後の事情が事情なりしもの[illegible]

二十九日午後に至り形勢急轉當分なる條件附にて會頭たる事を承諾する[illegible]

京城商議逐鹿戰

會頭決定=戰況展開

一時謝絶を傳へられたる鮮銀總裁美濃部氏の京城商業會議所會頭就任は去る二十九日午後二時に至り愈々同氏の確定せりこの報あるや今や當人の衷心より希望せる所なるを以て今次の逐鹿戰に一段の光彩を加へ各候補者の意氣込みも頗る勇猛を感じ來れり之に因りて一級候補の總顔觸れは美濃部俊吉、林田金次郎、矢澤近次郎、古城龜之助、松崎時勉、高木德彌、佐野彦藏、賀田[illegible]吉、釘本藤次郎、大[illegible]辰馬、高井健次、松本勝太郎、原末太郎、志岐信太郎の十四名にて定員十三名に對し

一名の剩員

を生ずる譯なるが志岐信太郎氏は遲れ走せに出馬し且又鮮銀總裁の出陣せる場合は斷念すとの條件なりしとのことなれば多分同氏の斷念を見るにはあらざるか要するに一級戰は大勢既に決し會頭問題以外多く報道するの餘地なきも二級戰に於ては幾多の波瀾曲折を演じ眞に興味の津々として盡きざるものあるを覺ゆ先づ二級戰中最高點の獲得者を以て目されたる北村氏は其緊張力に於ては依然之を持續せるも餘りに其の勢力の大なりし結果すかさず某々氏一派の乘ずる所となり所得點を奪はれたるを以て之が挽回戰に苦闘せる狀あり加ふるに高田氏も北村氏に次いで優勢なりしこの觀ありしも同氏の地盤たる明治町は北村氏が得意の勢力範圍に屬し係上忽ち北村高田兩氏の間に鎬を削るの混戰狀態を呈し化る本町に於ける兩者の爭奪は[illegible]劣勢に下りし嫌ありて本町藤富氏は久敗く鳴を靜めて

形勢を觀望

し居りたるがそは一種の戰略に出たるものにて內情は兩三日前より京城全市に亘り猛烈なる運動を開始し同氏自ら陣頭に立ちて戸別訪問を行ひ居れりと云ふ之が成績良好なりしと云ふ辻本氏は日本ビールの大日方氏を參謀として奮闘之が結果戰況頗る良好なり又藤崎半助氏は親交ある紙友會及び文具商を後援として善戰しつゝあり西崎氏は堂々の陣を張り陣容大いに揚ると共に氏の圭角なき性格は各所に同情者を得るに至れり殿後に二宮氏は最も遲れて名乘りを揚げたるを以て苦戰の狀あるも同業者醸入會及門外漢話會の

同情的結束

により當選圈內には入りたるが如きも尚一[illegible]

安信地場下落

安東取引所株は二十九日多數の賣物を滿洲方面より現はれたる結果寄附三十六圓四十錢止め三十五圓に下落したり之に引替取引所の權利株は六圓乃至七圓を唱へ居れり朝鮮側手の權利株亦六圓五六十錢にて手合せありたる模樣なり(安東縣特電)

釜山正米強硬

二十九日の釜山正米市場は明米の品調と出廻り薄の爲め五十錢を示し三等糙力五十四圓八十錢乃至良都七十錢高を示し五十二圓とこころにて三千俵の商內出來たり大豆は品薄の爲商內無し(電報)

大阪財界便り

取引所增資問題

取引所の增資計畫は一種の流行となりて株式たると米穀たるを問はず何れも當務者に向つて申請中なるが過去と新しく屬を見し申請中なるが過去と違ひ株價にて兩取引所の增資後に於ける資金の運用方法に就ては既に戰前以來新界に大いに研究し其の結果は頗る[illegible]の有本金を有する少なからざる[illegible]を增額せんとする數千萬の資本を有する[illegible]は稀有の高値を示し[illegible]して綿紡も之れと同樣の收縮の傾向を示して株式米穀、綿紡は名義の資金が更に米穀にては株式取引所の增加は現在の資本を變更すべき各取引所取引の[illegible]が餘りに多額に過ぐるは時代の要求なりと云ふにあるが何れも手加減を加へて認可あるべしと豫測せられ居れり

米穀鐵道輸送

公設市場にて需要の米穀は鐵道輸送は十一月中に打ち切り更に十二月中は購買組合及び公設市場に限り三割引普通の米商に對しては一割七分引とし更に大正九年一月よりは一割七分均一として差額を設けざる事に改正せらる、も近來白米小賣商の經營難を訴ふる者多く來月よりは公設市場と同一の割引率を均一とすべく同業組合役員上京して其筋に懇願する筈にて尚今後の公設市場の增設は一層小賣商に打擊を與ふるを以て其數を制限せられたき希望をも開陳する由

天津益々滯貨

天津經由航路の歐洲行き貨物輸送は貨物増加するに至り昨今既に三萬五千噸の巨額に達し各社定期及び臨時船の船腹を極度まで利用するも尚一萬一千噸の荷物過剩を見るに至るべし今之れを出來得る丈け削減するも五千噸は終航までに仕末せざるべからず將に十二月

東亞煙草會議

東亞煙草會社にては社務打合せのため來る一日二日の兩日鮮內各販賣所長を京城に召集し馬詰業務部長の下に會議を開く由

承運組合創立

鐵道承認運送店組合を組織し朝鮮鐵道承認運送店組合として同組合の創立總會を來る十二月三日午後一時より京城黄金町清華亭に於て開催すべしと

西村局長動靜

西村殖産局長は廿八日來馬廿九日前龍海作業を視察し夜間同地の歡迎會に臨み卅日歸着(?)に卽日馬山に引返し一泊十二月一日太郎に向ふ筈(馬山特電)

軍司令官敢弔

宇都宮軍司令官は子爵故根岸氏の逝去の爲め宇都宮軍司令部副官を二十八日午後古城副官を邸に派遣し弔せしめたり

人事消息

△村田少將 十二月一日午前九時五十分出發赴任の筈
△岡田商太郎氏(日鮮醸業會社取締役)二十九日夜入城天眞樓へ
△表角全南知事 郡守郡將學校長の各會議に臨みたる同知事は來る二日より濟州島巡視すべし(光州電報)

鳥瞰錄

佛國の大問題であつた總選擧も共和黨の大勝利となつてクレマンソー翁の政策の勝利である▲共和黨の勝利は要するにクレマンソー翁が大勢力を持つて居る事は英のロイド、ジヨージや米のウヰルソン君以上であるらしい▲其一例にはク翁は有名な宗教嫌ひであつたが翁の邸宅の隣に一本の大木があつた▲ク翁邸はこれが爲に日光を遮られるので再三伐り倒しを要求した▲處が其の大木の所有者はク翁の敵視して居る僧侶であつたから何と云つても聽入れない▲流石のク翁もこれには[illegible]閉口して遂には我を折つて一夕僧侶を招待して御馳走を出し▲私は大木を御伐り下さるまいか▲と拜みたくも巨木陰に蔽はれ仰ぐことが出來ない何とか彼の大木をお伐り下さるまいかと哀願したので僧侶も快諾して翌日早速其の大木は伐倒された▲此の事が一般に知れると首相の態度が宗教家に對しても一大變化を來したのだと云ふので非常な評判になつて居る

釜山の虎疫

[illegible]

投機熱の抑制

[illegible]

一回利上

[illegible]

大阪株式

[illegible]

日本食品製造株式會社株式募集

△此機を逸する勿れ 近來無二の投資株

設立の理由 大日本滋養品研究所製造のキヤンデー(菓子)滋養糖。コーヒー、シロツプ。コ、アシロツプ及食料パン等に十數年來非常なる努力の下に隆昌發展せる小林商店製造のニコ〳〵飴等は世間に定評あり吾人は實に同胞技術の一大進歩として世に誇るに足る、以上二製造所が現在の小規模にては迚も需要の十分の一の供給も不可能なるが故に大日本滋養品研究所及小林商店を一團として日本食品製造株式會社を設立し無限の需要に應ぜんとす。

◎戰時と平時とを論ぜず實に近來の新設會社中本社の如き有利有望の計畫他にありや

會社の將來 本社の事業は森永東京菓子株式會社、株式會社明治製菓等の同業會社の成績內容が已に事實を證明せるを見るも今更喋々の要なきも本社技術部の卓絶せる製造上の祕技は內地及支那南洋各方面に大なる歡迎を以てせらるゝ本社將來の多望なる推して知るべし。

◎家庭團欒圓滿ニコ〳〵幸福株として各位の家庭に推奬す

利益配當豫算 殺到しつゝある既設製菓業者の營業一切を合併經營するものなるを以て初年度より年三割以上の利益配當をなし得るを確信す。

◎見よ同業各會社の株券市價は何れも拂込株金の倍額以上なり

株式一部公募 吾人は正直に告白す。公募の理由は簡單明瞭なり。曰く最も確實にして有利有益の事業なるが故に菓子業者に於て既に滿株に達し居れるも特に一部を割きて公募に附し以て本社の成立を一般に知らせしめんと欲するものなり。

◎同業會社は拾割以上の利益を確實に擧げつゝあり

募集要項

一資本金總額 金壹百萬圓(株式總數貳萬株)
一壹株の金額 金五拾圓
一募集株數 五千株
一申込證據金 壹株に付金貳圓五拾錢
一第一回拂込金額 壹株に付金拾貳圓五拾錢(申込證據金共)
一申込期間 十一月廿五日より十二月三日迄
一募入方法 朝鮮、滿洲、支那に限り申込一切を十二月拾日迄とす應募株數超過の場合は發起人に於て適宜決定す

◎定款、目論見書及申込用紙は左記取扱所又は創立事務所へ御申越次第送呈す

發起人(順序不同)

[illegible]

株式申込拂込取扱所

[illegible]

東京市本所區向島小梅町十五番地
日本食品製造株式會社創立事務所
電話本所一四六〇番 振替口座東京二七九四五番

京日案內

大田公州運轉開始 謹啓霜寒の候益々御清榮奉賀候陳者弊自働車部は從來の大田、儒城、鷄山間運轉を擴張し今回大田公州間の運轉許可を得しに就ては來る十二月三日より其運轉を開始致し候間舊に倍し御引立の程伏して奉希候 敬白 大田榮町 金甲淳 自働車部 長電話一四八番

△本場大島紬廉賣 大島松元紬丁場出張 京城本町三丁目大和館隣 松元

◎店員入用 年齡二十歲前後口算入ヲ要ス 內ニ保證人ヲ要ス 京城南大門通五 [illegible]

賣地 右至急成行賣却ス 京城明治町二丁目 安部方 電話一四〇四番

◎代診藥局生 各一名 希望者ハ至急申込マル可シ 仁川 佐藤病院

事務員募集 但し簿記の心得あり且府內に確實なる保證人ある者希望者は本人來談 京城南山町三ノ一九 中前[illegible]

寫眞技師見習 各一名 京城[illegible]

△不動産金融 一般保證仲介 京城黄金町三丁目 電話九八九 不動産部

長野寫眞館

大島商會

柳行李革鞄專門

但馬屋 京城本町三丁目 電話二四八二

恩給立替 京城[illegible] 西村商會

水原石貫人 多少に拘らず

◎ほねつぎ 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場

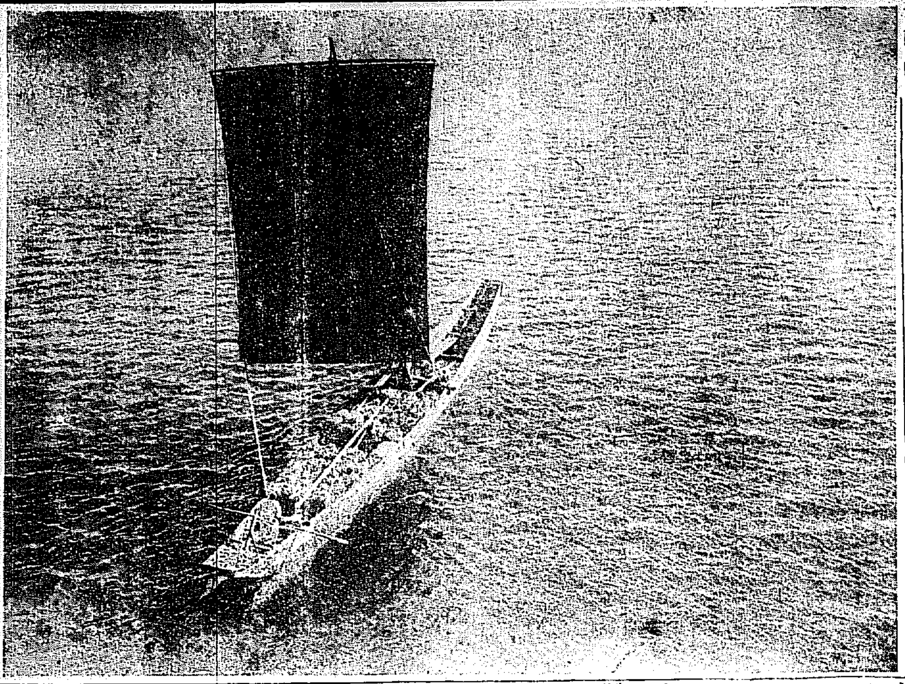
▲英語科 ▲鮮語科

古ミシン高價買入 京城[illegible] 楠商店

讓店 [illegible]

▲代診 至急入用 仁川 松本病院

◎店員一名入用 (姓名在社)



歸帆　小春日や人を尋ねて島の宿　總一

國境横斷旅行（六）

惠山鎭と其の附近

晝猶ほ暗い森林に 異樣の物音、蹄の音 身構へたら馬だった

人を恐れぬ雉子と山鳥 有名な裵傑補助員那徐淳君

惠山鎭にて　特派員　伊藤韓堂

實際洞から北へ四里、虛頂嶺の麓に胞胎山里といふ

最北の部落が

あり其處から四里、虛頂嶺三池淵の森林を進むと虛頂嶺三池淵に達すると聞いて更に進んで見たくなつた。此處迄同行して來て呉れた三浦君も然う遠くまで御同伴は出來兼ねると吾林洞へ引き返したので右左に別れて獨り薄暗い森林の小道を辿つて行く此の邊は落葉松よりも杉松が多くて仰ぎ見れば首が痛くなるほど高く伸びて居る。其の繁つた枝重、幾十重にも茂り重なつた枝と葉の間から僅に

碧い空の光が

ちらほらと漏れて來るので我を忘れて行くほうつとりと寂しい天の恩の光に打たれて居ると、何處からとも無く遠く幽かにコツ、コツといふ音が聽こえて來る。目を瞠り耳を澄して居ると其の音は獸の走つて來る爪音である。サテは又も老虎に出遭ふのかと大きな居檜の蔭に隱れ用心棒を振上げて身構へして居ると、走つて來る爪音は高く劇しく迫つて來た。たゞ一打ちにと思ひながらも少しく臆み掛つて闇を透して見詰むると、それは案外にも

一頭の朝鮮馬

で而も其の背には洋服の上衣を引掛けて居る。跳り出でて手綱を摑むで居ると間もなく一人の大男が銃を肩にして急ぎ足で遣つて來た。見れば巡査補助員である。双方驚きながら挨拶すると此の男は記者が曾て惠山鎭で噂を聞いて居つた有名な裵傑補助員那徐淳君で近來は胞胎山里に待派されて居るが今回の改正で憲兵

伍長に陞進し

たので今辭令を受取りに行くのだそうだ。何處へ行くかと聞くから今日の内に虛頂嶺まで行き明日は三池淵を一周するつもりだと云ふと目を瞠つて『それは危險です。私は未だ内地人の旅行者が單獨で、護衛なしに而もタッタ一人で往つた者のあることを聽きませぬ。殊に今は殆んど猛獸の出で頗る危險な時です。假令虛頂嶺に行つても歸往つてスグ引返さなくてはイケない。何んなことがあつても彼處に泊つては危ない』と注意し

『今日は胞胎山

まで行つて私の家に泊りなさい』と親切にも名刺に手紙を書いて呉れた。乃て別れて何も立木の間を辿つて行くと漸く明かるみに出た。顧みると吾林洞で前に見て居つた嶮峻は何時しか後に見ゆる如くなつて深山の立木を拓いた畑には燕麥が刈り取つて束ねてある畑も半里許り流れに沿うて下ると目當りの良さそうな處に人家が十二三の一小部落に出た。此處が即ち胞胎山里であつて

咸南道の最北

の部落である。早速區長金景南氏の家を訪ねると京城からの珍客樣だとあつて下にも置かず待遇し、家内挙つて雉麥を搗く熱飯を拵へるそれは〳〵大騷ぎである。日の暮るには間があるので此の地から東へ一里許りの北溪水と云ふ村に見物に行く。南胞胎山から流れて來る小さな流れに沿うて上つて行くと村が近い結果であらう、落葉松や唐檜の小枝は悉く掃はれて其の木立は恰も公園の樹木のやうに美しう見ゆる。河には鴨が浮かび磯には

雉子と山鳥が

一列になつて餌を漁り人が近寄つても逃げようとせぬ。實に悠々閑々たるものだ北溪水の入口に一基の天上地下の大將軍が建てられて

乾坤艮巽惡鬼消滅大將軍神
東西南北土魔消滅大將軍神

と彫られてある。村は僅に二十戸許りであるが其内にも空家が多いやうだ。空腹に堪へ兼て飛込んだ家は申龍珠といふ百姓家であつたが快く馬鈴薯を煮て接待つて呉れた。病身の亭主に京城の話をして聽かせて居ると次の間から二三の女が偸み聞きするやうであつた。

公設運動場 工事進捗す

來春は使用出來る

京城府の運動場工事は入札の結果大關組の手に落ち大關組は訓練院の兩所共に着々と工事を進めて居る、既に訓練院のトラックは既に其形は出來上がつて居るが盛りを切り取つた部分に水が溜るので近く排水工事を施す筈であるテニスコートは未だ殆ど手は着いて居ないが其他の工事は着々進捗しトラックの如きては

公娼廢止を叫ぶ

セブランス病院の獸醫學博士

南大門通米國人經營セブランス病院醫員英國獸醫學博士スコフイルド博士は去る二十五日夜朝鮮に於ける基督教の大本山ともいふべき鍾路二丁目中央青年會館に於て聽衆

九百餘名

に對し公娼廢止の演説を試みたるが彼は其の引合に出し由來朝鮮には公娼なるものなかりしに偶々日本の手下となるに至り初めて此非文明非人道的野蠻なるもの出で來るに至れり諸君は宜しく日本府の僞に抗ふ可らざる

屈辱を受

けつゝある…胞の爲進んで公娼廢止を叫ばざる可らずと盛んに帝國政府を冒瀆し大の煽動的言辭を弄せる由なるが此の演説の大要は總て或る何物かの形式となりて現れ來るべき形勢に在り目下其筋にて注意中なりと傳へらる

李堈公御後悔

現代的に深刻に惱まれ　自由を欲して居られる

不逞鮮人大同團の爲に義和宮邸出を企てられた李堈公は目下綠泉亭に起居して居られるが今回の事件に就き親しく

お目に掛　つて取調べた

千葉三部長は語る『公にお目に掛つたのは今回が始めてであるが數時間對座して公の溫厚な點に感心した公の現在は政治的野心は毫末ないやうに思はれる。たゞ自然に憧憬し自由を欲求し政治的の意味でなく自由な生活を

衷心から　希つてゐ

られるニーチェの如き人である。そして現代的に深刻に惱んでゐられるらしい、政治的識見と云ふ程の話もなかつたが『世界の大勢から推しても朝鮮獨立などは絶對に不可である』と云はれた所から考へると朝鮮獨立などは全く夢想にも無いやうに思ふ此度の

逃出事件　に就ても全く

不逞漢の脅迫強要の結果で御自身も全く後悔して居る御模樣である。公は生を王族に享けて居られるだけ自由な生活を希ては總ての社會的な煩瑣から全く解放された自由な生活を欲してゐられるらしく現在の生活其の周圍に對しては絶えず

不平を漏　らされ如何に

も遣る瀬ないと云つたやうな窮迫狀態の如く思へたが兎も角飛んだ御迷惑のことゝ御同情に堪へない』

墨塗り

帝展出品に　犯人は直に取押へらる

目下京都に於て開會中の帝展出品石崎光瑤氏の『燦雨去來』山内多門氏の『天龍四季』外十一點に墨を塗りたる者あり折柄觀覽中なりし濱忠次郎氏の爲に取押へられたるが右犯人は岡本肅彥と云ふ者なり（京都電報）

東八號

總督府醫院の精神病舍を觀る（三）

殺人事件の主人公＝白痴と低能＝折紙を造る女＝白い蒲團に細面の美人＝黑髮は根元から＝綠髮が仇＝京城には百人以上

若い醫員の談話を聽きながら病室を順次に廻つて見る先づ第一に問題の殺人事件の主人公趙泳鎬の室を覗くと彼れ一揚の騷ぎをしたのも忘れ果てたやうにケロリとした顏で

跪坐を　かいて天井を仰いで居る『沈着いて居ると言へば常人と少しも異つた處はありませんが一朝氣が狂つて來ると此眼の色から違つて來ます』と醫員は言ふ。其隣室には白痴の少年と低能の青年とが晝々として眠つて居る。突然隊が

抱き合　つて居るのだ、

と思ふと一郎下一郎と竝んだ向側の室には彼日の横穴を透して見ると室内には二人の婦人が寢轉んで居る。一人は足を投げ出して折紙やうのものを造るに余念もないが一人は白い布團を頭深く引被いで寢て居る姿は又なく哀れに

美しい　者であつた。細面に描いた如な眉、鼻筋が通つて生際と云ひ眼と云ひ殆んど申分ない程に整つた容貌だが什麼した事か綠の黑髮は根元からゴッソと斷り落して漸く一寸餘りの長さしかない不思議さに『何うしたのか』と醫員に聞ふと『未だ年齡も

二十一　二だらうですが

何でも嫁入の先を家庭の不和で家族から離別されて親許に歸りましたが間もなく發狂の末氣が狂うて生家に渡されたのださうですが唯此の遣り繰ねず嶷で居るので別に常人と變つた點もなく見ねます然し病が起つて來ると

夢中に　なつて髮の毛を

切つて了ふのです、口もきかずに凝乎と默ぎ込んで居ますので何う云ふ人が出て自殺をしたがるのです見らるゝ通りの綠綢ですから夫れが却つて仇になつたらしいやうです』と語る人も聲が濕つて居たが聽く心も同情の念が湧く。

佳人薄　命の嘆へに齒い

事だが之も萬の思を收容し得る設備が一個もない京城府内だけでも此種の精神病者が百三四十名はあるこの鮮人の收容する設備が一個もないのは遺憾である

新の中から 膽寫版

不穩文書發行者捕はる

五條約締結の曲解を基とし全鮮一齊に騷擾を惹起すべしと流言を放ち去る十八日不穩文書を撒布せんとする企畫ある事を警官に於て探知し十七日午後六時頃府内都染洞一二五金明俊方に臨檢したるに國家表入口に不穩なる新聞紙ありて取調べたるに牛島本鐸と稱する不穩文書二百七十餘枚を發見したりも右不穩文書は五條約締結に對し騷擾を惹起する目的にて印刷したるものなるが鍾路署にては更に進んで印刷機の所在を嚴探したる所翌十八日午後七時に至り安國洞六五李大七方入口に堆積しある薪の中より膽寫版一臺及び附屬器具を發見し同時に關係者申泰均其他を逮捕し目下取調中なりと

列車時刻改正

明日から愈　旅客は注意

朝鮮全線列車時刻改正は愈明一日より實施さるゝ事となりたるを以て讀者諸君は列車時刻を間違へぬやう注意せらるべく三十日午後七時廿分安東驛の列車は當日に限り十五分を繰上げ七時五分出發平壤に於て新時間に改むる由なれば京義線旅客は右注意せらるべし

掏兒團逮捕

被害五千圓以上に達す

本籍全羅南道木浦府□□奉玉（二六）外五名及び住所不定洪春弘（二七）外五名は本年八月三日午前十一時頃南

月桂冠は誰の手に

歌留多大會は愈今日　遠く清州からも出場す　老人も子供も梅の家へ

本社主催の歌留多大會は愈今日三十日午前十時から南山町梅の家へ家樓上に於て擧行される此の十數年來類へに見ない盛況を呈するに違ひない既に競技參加を申込んだものは

六十を算　し遠く清州よりも古谷川島上村三氏が出場し仁川からも通へ會運中が大擧參加するそ云ふから愈今日こそは參加總數百を越ね更に各會選手の應援やら見物やらでさしもに廣い梅の家樓上も

人を以て　埋もるであらう見物は甚だ邪魔せぬのは勿論だが兎々も競技の妨害にならぬやう注意して欲しい本社は優勝者一等には美麗なる金牌を二等より六等迄には銀牌を贈呈し更に副賞としてパイン萬年筆其他を贈呈する筈である歌留多界の

序幕戰が　如何に展開さるるか非常に面白い觀物であるれるか非常に面白い觀物である知らず優勝者は美矢飛か誰か新興の學生會か夫とも新進未知の飛將か歌留多を執る人は云はずもがな老人も子供も婦人も行け

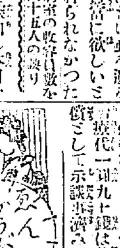
▲競技規定

▲持ち札は一流二十五枚、二流二十枚とす▲一販失敗の事▲同志打を避くる事▲禁止一回限りとす▲其他從來の通り

自轉車自動車と衝突

示談手濟みとなる

二十八日午後四時頃通路二丁目東洋自動車商會の自動車第二號を運轉手朴和基が操縱して鍾路一丁目方面へ向つて疾走中南大門通二丁目增田方金昌吉が自轉車に乗つて反對の方向より疾走し來れるより自動車は直ちに右方に避けんとしたるに金昌吉も亦同方向に避けんとして遂に衝突し自轉車は前輪を曲折し金昌吉は頭部に打撲傷を負ひたる騷ぎに直ちに鍾路病院に伴れ行き手當を加へたるが負傷者は十日間を要すべしと因に自轉車修繕料四圓五十錢及治療代一圓九十錢は朴和基が賠償として示談手濟みとなれり



鑛撫の見込全く無し

足尾の罷業

足尾銅山坑夫罷工は漸次惡化し何時暴動を惹起せんも知れず容易に解決の見込みなし（東京電報）

短刀を擬して

利川の強盗

京畿道利川郡雪星面金盛里八十七番地飲食店金正娘（三二）方に本月二十六日午前四時頃短刀を所持せる二名の強盗現はれ金正娘に對し所持金全部の提供を命じ若し應ぜざれば殺すべしと件の短刀を突付けたるより金は所持金五十圓を與へたり賊は宿泊し江原道原州郡邑内面へ

新年文藝

懸賞　募集

▼和歌『田家早梅』▼俳句『猿曳』▼川柳『露宿』▼俗謠『ストライキ』▼ものは付『可愛い物』▼一口噺『間の拔けた事』▼下句付『阿呆らしい』▼謎『勞働問題』とかけて▼小品文　題隨意十四字詰二十行以内▼漫畫　題隨意

（制限）一人に付一題一首又は一句、但し一人に幾題を投稿するもよし（用紙）端書其他紙に認むる事（注意）一題毎に別用紙に認むる事（又は）締切十二月十日京城日報社編輯局新年文藝係宛附する事

（賞品）（各題に付）▲一等壹圓▲二等五拾錢▲三等（三人）本社代理部の相當商品を贈呈

女のおもり

怖ろしい子宮病

一般婦人には毎月一定の月經以外におりものが下るものでありませんが然るに皆さんが平氣で入らつしやる白帶下なるものは抑も子宮の疾病に起るもので初めのうちは水か玉子の白身の樣ですが段々と粘つて濃くなり其色も黃色又は血色などの濁つた色となります而して下腹痛、腰痛、頭痛、肩凝、逆上、目眩、耳鳴、動悸、食欲不振、膀胱痛、足冷感、浮腫、肉瘦等の症狀と共に神經症状の起るもので實に子宮病の初期であります

▲こしけの誤解

こしけは子宮病の前兆の如きもので別にこしけと云ふ病氣ではありませぬ

▲眠つた間の治療法

實驗者　神田四谷山崎ラク子樣（二百）

本命の舗　東京市京橋區新榮町　笹岡省三藥房

促成栽培講習録

東京牛込喜久井町十　大日本農業會

五ケ年に亘る苦心の大著 即席應用 組合せ式 手紙文鑑

▲▲どんな手紙でも頭を痛めず即座に思ふ通り書ける新案組立法

▲今迄に類がない

本書は元中學教諭某氏の苦心完成の大著にして今迄に類のない組合せ式なるが故にどんな手紙の下手な人でも一度本書を開けば少しも頭を痛めず思ふ通りの手紙が即座にスラ〳〵と書ける

（著者責任問答に應ず）

特價　有教社

發明世界

一攫千金の新發明　無盡の寶庫を開放して讀者諸君を待つ

本邦創始 製圖家養成講習録

東京南傳馬町　東京通信工手學校

急告

一支那北京直輸入骨董品其他古代銅陶土中珍品種々有陳列一般ノ縦覽ニ供シ御希望ノ御方ニハ廉價ヲ以テ賣却可仕候

日時　十一月三十日午前十時ヨリ十二月一日迄貳日間

場所　京城府明治町二丁目小川旅館樓上

荷主　支那濟南府　永岡

建築設計製圖

▲諸材料暴騰の際經濟的建築をなさんとせば是非建築設計を要す御方よりの申込に對しては實費出張可仕候

京城旭町一ノ一七二　相澤工務所　電話二四六五番

關門航空自動車學校

▲校舍新築落成□新學期開始□生徒募集

內科 婦人科 イマモト醫院

旭町壹丁目（京城府廳裏通）　電話二八五二番

內科 眼科 小兒科 本田病院

京城黃金町三丁目赤門通（電車停留所前）

附屬　京城肛門病痔疾療院

夜の蜘蛛 江見水蔭

（三七） 挿畫 近藤紫雲

聲を立てるか、逃げ出すか、こちらに出ても小刀は三方四方から覗くのである。まさか殺されもしなからうが、何處かに怪我をさせられるに極つてゐる。幸ひに怪我をまぬかれたとしても、衣服の何處かを切り裂かれるのは、如何しても逃れ得ないのである。

不良少年團に捕まつた龍子は斯うして淋しい永田町の方へ、ヂリ〳〵と渦巻きに卷かれた儘連れて行かれ樣とするのである。

人通りの少い屋敷町へ連れ込んだ上は、何を仕出かすか知れないと思ふと、未だ肉體に實害

した方が好いかとも考へて、龍子は突如一人を突き倒して走らうとした。

『何ッ生意氣なッ』

『遣ッ了へッ』

口々に呼ばはつて、既に小刀が不良少年の手で、龍子の顔に當らうとする處へ、電柱の蔭から飛出した一人。見る〳〵バチルスを片ッ端から取つて投げ突き倒し、張飛ばし、忽ちの中に一掃して、一人として地上に立たせなかつた。

或者は溝に落ちた。或者は煉瓦塀に額を突き當てた。或者は電車線路に横たはつた。

『龍子さん、大丈夫だ。僕が附いてる』と呼ばはつたのは、大學生の濱太刀彦。昨夜樞密翁と連れ立つてカフエーを出た青年で有つた。

『有難う御在ました。お蔭樣で……』と云ふのも漸くである。龍子は餘りの恐怖に息が切れて耐へられぬ。

此間に不良少年等は、バラ〳〵と何處やら逃げ散つて、一人も影を留めなく成つた。

中には跛足で逃げ出したのも有る樣であつた。柔道二段の濱大學生に遭つては、迚も勝てる筈が無いのだ。

『ヤ、龍子さん、僕はアレから日比谷公園まで行つたのです。其中に大略貴女のお話も承はつたのです。然うして是非貴女を保護する樣にと、先生からも御依賴を受けてるのですが、偶然……左樣、全部偶然といふ譯でも有りません。今夜先生の處へ伺つて、今まで話し込んでゐて、その歸りがけに、貴女が隼町のお宅へお歸りなさる時間だと思ひつゝ、此邊まで來合せたのでした。然うすると、あの騒ぎでした。併し全く好い塩梅でした』と濱太刀彦は云つた。

『本統に御心配掛けまして、相濟みませんでした』

『いや〳〵、そんな事は如何でも好いですが。ま、兎に角お宅までお送り致しませう。彼奴等は執念深いですから……』

『此上御手數を掛けましては、濟みませんけれど……』と龍子は恐ろしさが未だ去らぬので、敢て辭退をしなかつた。

『なに、手數も何も有りませんよ。これは先生に對して僕が盡す義務の一ッなんですそれに遠いのでは無いでせう』

『隼町ですから……』

『それでは直きです。さア行きませう』

『では、如何かお願ひ致します』

電燈が點いてゐるので、街路は明るいけれど、片側平河町、片側隼町の町家は早戸締りをして、一軒も起きてゐる家は見當らず。甚だ寂しい。

『でも、何處にも怪我しませんでしたか』

『はい……』

『少年達でも、實に惡く穩い智慧が發達してゐるから、全く油斷が出來ないですなア』

『妾、如何しようかと思ひましても……貴郎が見ゑなかつたら、大變でしたのですが……』と、歩きながらも龍子は何度となく禮を述べた。

日報歌壇

感傷春秋

□日野 豊泉（京都）

血の如き色の大皿たか〴〵と盛りし林檎の白さよろしも

雪の如き林檎なすかさたち剝きて中なる種子の黑さなるかも

口小さき白磁の壺の人の顔にくちづけしたる紅の痕かな

おほらかに笑ひ給ひし君のふと默して池に見入る寂しさ

たつぷりと水をふくめる海綿に紫インク散る朝の風

朝戸出の我のまとへる側服に窈したゐりて水玉なすも

秋の潮に臨める綠のつめたさを素足の裏に踏みしめて立つ

しみ〴〵と君に告げむと思ふ事件に訊かむと思ふ事かな

誘惑を怖れて棲める若き子に爺の溜骨の寂しき夜かな

森に來て木莓摘める在りし日の其の思ひ出よあはれ雲飛ぶ

□ 千 鶴（龍山）

女てふ弱き名に活く身は悲し願かれさこそ祈る心も

□ 田代ゆみ子（京城）

夢にだに忘れぬ戀の今日も來て喰けさばかり胸にさゝやく

なまなかに戀はすまじな身一つ捧げ盡して悔いぬ男で無き

生れ來て戀を知る日に女とふ運命に泣くは我身のみかは

高嶺咲くま紅き花のそれに似て昨にはうつれ行手はるけし

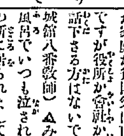
いとしきは胸の炎よ汝が爲に命の

限りつきめむ我はたさめ子の淨きを愛づる心にも人は斯くぞと時を敦へぬ

人戀ふは誠苦しも我ならぬ男ごゝろのつゆ分かなくに

歌壇の人々へ 來春匆々短歌會を開き度いと思つて居ます短歌會に關する御註文がありましたら今の中から伺つて置き度いものです▲今後三行詩曲に新體詩の選は福井同人佐伯草人氏に一任しました▲右に關する御希望に不滿の點は同氏宛御照會を願ます（記）

○富喜製薬募況 大島要三、安樂榮道、染折長之、岡田安賢其他實業家をもつて資本金百萬圓の富喜製薬株式會社は五株以上五十株迄に限定し廿五日（海外三十日）を期限とし公募中なり



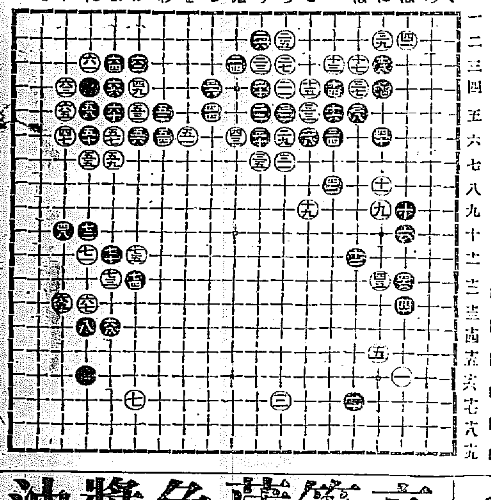
▲某齒醫者さんの處で入齒してくれましたが間もなく痛みましたので外へいつたら大變高いことを云はれそれからあちこち聞きましたら皆大層料金が違ひます京城の齒科醫者さんには醫師會はないでせうかあれば治療代や入齒が定めてないのでせうか私は今迷ふて居ます（齒無して困り生）▲高等科を一昨年優等で卒業した心身共に健固な男子ですが家庭が貧困父は盲目、實に可愛想ですが役所か會社か、有望な所に御世話下さる方はないでせうか（朝城館八番敷師）▲みなし〳〵樣私は御風呂でいつも泣されますそれは商湯の所に居られまして上る者の迷惑を何んとも思はないのみか御湯を股に行くといなや湯されますそれから一般に入る處のまはりに陣取つて居られますので困りますそして中へ入る時はめい〳〵褌の中に手拭を入れて人に使はせぬ樣にされます何んさか今少しづゝゆづられ度し（涙女）▲陸軍衛戍療養生に答ふ忠南鴻山郵便局北 SO生 宛 宿所を一報せよ▲本社はひま多くて困つて居ります御安心下さい滿足な事は出來ませんがお役にたつ事でしたら何なりとさせて下さいませどこまでも御伺い致しますから御住所を知らせて下さいませんか（京日女）▲黄海の某郡の某部使所員伶女事務員よ君今少品行を改めよ（思育生）▲火災保險料率問題に就て既に世論囂々其等級別たる甚だ不公平もしくは不可解の點多し故に時今有識者寄り〳〵之等の核心なる評さしさして新たに高所に一大火災保險會社を創設せんと萬事運行しつゝあり會社主と借人の御意見本紙に見たり低償の程如何に堪へず（同感生）

圍碁新局（五）

（十一月中旬於本社主催圍碁大會）

五段 瀬越憲作氏
三子 佐藤伊蔵氏

○六一	た三
●六二	か三
○六三	れ四
●六四	よ三
○六五	れ五
●六六	よ四
○六七	た十三
●六八	よ十四
○六九	れ十三
●七〇	よ十一
○七一	た十一
●七二	た十
○七三	よ十二
●七四	か十二
○七五	か十一



織元から直接廉賣

足利の大産地より直接仕入れ、約半値段良い品物を安く賣るから親切で大好評

日本は五大強國の一に成つたけれど、諸物價が一番騰貴したが織物は、之れ先高調になりますから今御註文なれば御徳用ですから御勸め致します 御注文は男女で年齢柄向等詳記して御要求を乞ふ 引替逢り返金す

羽二重縮紋付上 貳拾三圓五拾錢
七子黑紋付上 壹拾三圓五拾錢
糸入高貴微男向 五圓八拾錢
絹大島紬特上壹反 壹拾五圓
結城紬女向一反 四圓
結城縞兵子帶 六圓
白縮緬一反 壹圓五拾錢
銘仙縞 八圓五拾錢
冬仙紬有之上等 七圓五拾錢
柄衣取揃御往文に應す

外 木縣足利町停車場北入 登録商號 織物賣捌 青木商店 振替東京四三八一〇番

衣服の新調には

縮緬錦紗 ○格安出物各百枚限る大廉價
◎高貴御召物揃二枚重 羽織、羽二重、袴物裏 極上金巾
◎足利大島絣 男女上物揃 及羽二重紋付 組一 男女共名
◎トンビ メルトン卅三圓 一均
▲鶴裏上等卅五圓以上金百圓迄
◎紋附裾模様家袴 祝儀用衣裳如何様ノ御物モ 其他有合各品勿論御誂ノ物モ御註文ニ依リ切手封入ノ上御用ヲ
大阪市西區九條通一丁目 横綱屋衣服店 電西三一七二 振大五一八〇二

一、日本形 …… 右購買スル詳細ハ十二月一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

縄叺卸商
如何なる大注文も今間に合ます
大邱府大和町 東屋商會

ユートピア 一名金属磨液
真鍮、銅、ニッケル、錫、金銀其他總テノ金屬ヲ磨クニ手数ヲ不要 品質ノ傷ムコトナク、然モ價至廉ナリ故ニ御家庭ノ常備品トシテ一般ニ歡迎セラル
定價一瓶一圓 半瓶六十錢 送料十八錢
京城日報社代理部 振替京城三〇〇

高等薄色醤油
明治町二丁目 大塚支店 電四〇一
本町二丁目 前田酒店 電一三〇
本町一丁目 佐藤牧本店 電二一九 二四八
龍山驛前 中崎商店 電五五二

丸佐被服店の被服とは何？
和服、洋服、マント、トンビ、毛布、蒲團、帽子、厚司、莫大小シャツ、半ズボン、靴下、足袋、手袋、袴、其他諸品及諸官衙掛下被服類一般を得意とし時代の要求に從ひ發展に努め勉強に勵み……
龍山漢江通三丁目 丸佐被服店 電話二參六番

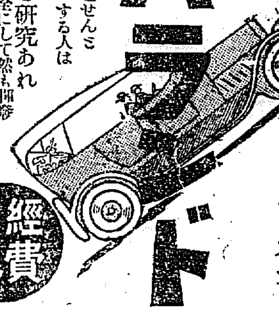
拂下公告
右元町四丁目所在土地及建物拂下ス希望者ハ十二月九日午前十一時入札スルニ付當府門前ノ掲示ヲ見ヨ
京城府

Overland

此れぞオバランドの本領たり

馬力最高 經費最低

◎乘合會社を發起せんとする人は是非共一應オバランド車を研究あれ
○其車輛堅牢、機關完全にして然も揮發油、圓滑油消費の他車に比し極度に少量なるは實地使用者の悉く證明せらるゝ處たり



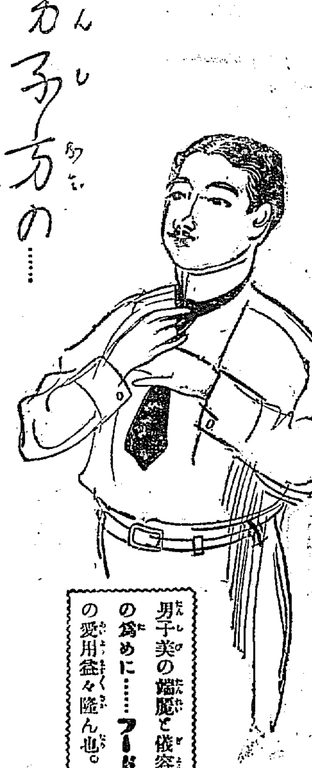
ゼーエッヂモーリス商會 京城府貞洞拾九番地
ウイリスオーヴアランド會社 米國オハイラ州トレド市

◎幌型、函型、乘合車 荷物車壹噸ヨリ參噸迄 各種在荷豊富
◎說明書、見積書、圖面 御申越次第無料呈送可仕候

男子方の整容に……

ホンノリ色白くなる

レートフードの一滴



男子美の端麗と儀容の爲めに……フードの愛用益々隆ん也。

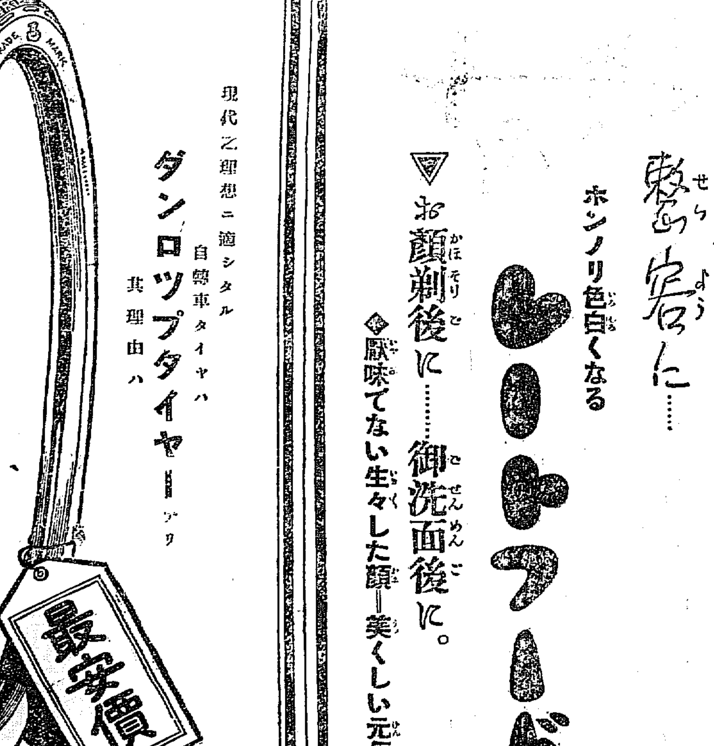
▽お顔剃後に……御洗面後に。
◇厭味でない生々した顔―美くしい元氣のいゝ顔―

本舗 東京 平尾賛平商店 大阪

現代之理想ニ適シタル自轉車タイヤハ

ダンロップタイヤーナリ

其理由ハ 飽迄モ耐久力ニ富ミ 體裁善ク値段ニ於テ非常ニ安價ナリ 他ニ此三拍子揃タルタイヤ有ル哉 到ル所著名ナル自轉車店ニ有リ



ダンロップ自動自轉車タイヤーハ各自動車店ニ有リ

大阪商船出帆

△浦鹽行 安東丸 十一月十五日正午出
△大阪行（釜山、大阪行） 大進丸 十二月四日後四出
三版山丸 十一月十六日後四出
（元山出帆）
△浦潮行 平安丸 十二月七日後九時出
（山、門司、宇品、神戸、大阪行） 島丸 十二月二日後十二時
（大連出帆）
上海、基隆、打狗行 湖北丸 十二月八日前六時出 基隆丸 十一月廿四日前六時出
南洋行 一年四回 北米行 毎月一回 南米行 一年四回 豪洲行 毎月一回
大阪商船株式會社仁川支店 電話二二番二二〇番五五〇番

共同汽船仁川出帆

▲奏皇島行 第二共同丸 十一月廿八日午後入 廿九日正午出
▲青島直行 第十共同丸 十一月十八日後入港 二十日前出帆
大連直行 第十三共同丸 日午後入港 日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて青島行定期汽船株式會社
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目 電話一七三番
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 南大門 河村運送店

朝鮮郵船出帆

▲敦賀行 京神丸 十一月三十日 十二月三日 元山發
▲浦汐行 平安丸 十一月廿五日 廿七日 元山發
▲雄基行 雄基丸 十一月廿五日 廿九日 元山發
平壤丸 十一月廿八日 三十日 元山發
▲元山雄基線 鏡城丸 十二月二日 元山發
▲大阪行 春日丸 十一月三十日 十二月二日 元山發
▲關門行 雄基丸 十一月七日 京畿丸 十一月九日 十二月二日 元山發
釜山濟州島行 ○宗信丸 ○慶寶丸
鬱陵島行 鬱陵丸 十二月一日 釜山發

釜山港出帆廣告

第二 元山、西湖津、新浦、城津、清津行 十一月三十日午後六時
第三 門司、宇品、神戸行 十二月十一日午後六時
釜山 大池回漕部 電話二三番六七七番

日本郵船仁川出帆

大連天津牛莊行 濟州丸 十一月廿六日正午出 高砂丸 十二月七日正午出 營口丸 十一月十六日正午出
△本船ハ都合ニ依リ早發スルコトアルベシ
△客船ハ乘込御迎船ノ用意アリ
仁川海岸町一丁目 郵船支店 堀回漕店

尼崎汽船仁川出帆

群山大阪行 赤城丸 十一月 日後四時出 一心丸 十一月 日後四時出 神代丸 十一月 日後四時出 秀吉丸 十一月 日後四時出 大和丸 十一月 日後四時出 君が代丸 十一月 日後四時出
仁川海岸通二丁目 印船客御斷 高杉回漕部 電話五九番

本京城南大門通（電話長二三）

釜山 山佐藤町 安店
元山 海岸通 元山出張所
仁川 代理店 堀回漕部
木浦 代理店 山野回漕店
京城 南大門通 松原運送店
其他各寄港地ニ各取扱店